大正九年十二月十四日
第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
十月二日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
郵稅　一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通　一行　壹圓五拾錢
特別　一行　貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二二五　營業局專用(3)三二〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

國交斷絶の場合は首都を株洲に移轉す

南京、上海を中心に中央軍移動活潑

戰備また着々と進む

【上海一日發國通】支那側では對日强硬外交の氣勢頗る猛烈となり之に伴ひ萬一の場合を考慮して南京、上海附近を中心に中央軍の移動活潑となり着々戰備を整えつゝあるが馮玉祥を首班とする軍事委員會では連日對策協議の結果、萬一日支國交斷絶の場合は首都を南京より湖南省の株洲に移すに決し同方面に軍隊を集中しつゝあり注目されてゐる

謠言に惑はされず安居樂業せよ

—上海公安局布告を發す—

【上海二日發國通】閘北及び北四川路筋の民衆の中謠言に怯へて租界その他に引越す者が續出するに鑑み公安局では人心に就き種々對策協議の結果一日夜半左の如き布告を租界内外各方面に貼り人心安定に努めて居る

最近不逞の徒謠言を振りまき殊更人心を攪亂する者あり、一般民衆は謠言に迷はず當局を信じ安居樂業せんことを望む、公安局は責任を以て市民を保護すべきに就き安心して然るべし

聯盟非常任理事國に支那選任

【ジュネーヴ一日發國通】聯盟總會公開會議は一日午前十時十五分開會、非常任理事國を現在の九ヶ國より十一ヶ國に增員する件を可決支那も新非常任理事國の一に選任された

我邦の簡保と郵便年金

我邦の簡易保險は十月一日をもつて創始二十周年、郵便年金は創始十周年を迎へた、創立以來二十春秋、その間財界の變動或は天變地異等數々の難事に遭遇したがこれを切りぬけ、最近に於ける兩事業は簡易保險契約件數二千五百萬件、保險金額三十五億圓、前普及率は全國を平均し人口千人に對し三百五十五件を超へ又郵便年金は契約件數三十五萬件、預金額二千九百萬圓を突破する盛況にあると

東京府、市、商議慰問團派遣

【東京國通】東京府、市商工會議所の在滿將士後援會では漸く寒季に向ふ北滿に活動する第〇師團出征部隊を慰問するため五日午後九時東京驛發列車で慰問團を派遣する事となつた、東京府から岡府會議長、廣橋社會教育課長、東京市から間宮社會教育課長他區長二名、商工會議所から岩崎淸七氏他一名が寄附をする慰問金二萬圓を持つて新京奉天、北安、哈爾濱、黑河、齊々哈爾、洮南、四平街、安東の各地を訪問するが、特に齊々哈爾にある在邦滿人の妻女によつて經營されてゐる兵士ホームが經營難にあるので買收費を寄附する筈

行政機構改革に

陸軍側强硬態度を固持

【東京國通】行政機構改革問題に海相と協力重大なる一石を投じた寺内陸相は目下大演習地にあつて政府の出様を靜觀してゐるが、陸相は

苟くも庶政一新を斷行し强力なる國策を遂行せんとするならば行政機構の改革は絶對的に必要である

との建前を堅持し歸京後海相と步調を合せて飽迄この實現を内閣に迫る決意を持つてゐる、而して陸相としては今直ちに其全面的事項を考究するものでないとしても尠く共國策綜合統制樹立機關の擴大强化並にその長官としての無任所大臣の設置等の如く即時實現可能のものは直ちに之を實行に移すべく强硬態度を持してゐるので陸相歸京後廣田首相との折衝は頗る注目されてゐる

奉天防空演習第二日

【奉天國通】一日晝夜數回に亘つての敵機の襲擊も我軍民一致の鐵壁の防護陣に遂に目的を果さず擊退され大奉天の夜は再び靜かに更けて行つたが、明くれば演習第二日の十月二日、昨日の襲擊に失敗した敵機は更に有力なる部隊を編成し再度奉天を爆擊すべく機を窺ひつゝあり、撫順統監部からは

一、十月一日夕刻以來敵は奉天、撫順等各主要都市に對し各機の編隊飛來し爆擊を實施せるも我には大なる損害なく擊退せり

二、我が飛行隊は宣戰布告以來敵の重要地區に對し數回空襲を行ひ相當大なる損害を與へたり

三、奉天市に於る各防護機關は平素の周到なる計畫に基き迅速なる準備を整へ十月二日午前八時以後完全なる活動をなし得る狀態にあり

との味方に有利なる狀況が發表され各防護團は勇氣百倍、やがて午前八時演習開始の命令が發せられると共に壯烈なる演習の幕は再び切つて落された

鯉沼、菅野兩氏參事に登格

滿鐵昭和十一年度の定期登格に際し參事に登格したもの六十四名内新京事務局關係は局長附鯉沼兵士郎氏と庶務課長菅野誠氏の二名である

鯉沼氏は前新京地方事務所副所長として附屬地移讓前の錯綜せる難問題をてきぱき片付けその敏腕は衆知の如くで今回の事務局新設に際しては局長附となり附屬地の重要諸問題に携はることゝなつたが同氏の手腕力量から推して參事登格は當然と見られる、菅野氏は撫順炭鑛庶務係長から新京事務局初代庶務課長に拔擢された新進で今後に多大の期待をかけられてゐる（寫眞は鯉沼兵士郎氏）

聖上御親裁の下特別大演習開始

無敵皇軍布陣完了

【札幌國通】第三十四回陸軍特別大演習は愈よ開始された演習第一日の今二日大元帥陛下には五日に亘る行幸の疲れを癒させ給ふ御暇もなく御軍裝のまゝ早くも大本營御座所に於て親しく演習御統監に當らせられる、承るだに畏き極みである

×

昨夕錦旗を迎へ奉つた札幌は陛下在します光榮と感激に畫ひながら初の夜を迎へたが、此夜珍らしく十數日振りの快晴、中秋十五夜の月光は手稻山の頂から札幌の市内を夢の如く照し夜空にそゝり立つエルムの梢を秋風が心地快く吹き渡る、北大々本營の幕僚室には煌々と電燈が輝き深更まで統監部との傳令往復が頻繁を極める

これより先演習部隊は同夕午後六時頃一齊に想定を受領俄然色めき立つた、飛行隊は根據地に慌しい爆音を殘しオートバイが飛ぶ、兩軍司令部からは各方面に無電が亂れ飛ぶ

×

大元帥陛下の御馬前に競ふ演習が下元、三毛兩軍司令官以下參加全將兵は實戰以上の緊張鬪志に氣負ひ立つて命令一下今や遲しと待構へる、斯くて雷鳥の嘶き、砲車の轟は秋酣の石狩大曠原を壓し兩軍は大演習想定に基く布陣を完了、三日早曉を期して世界に誇る無敵皇軍の攻防戰が展開される

畜産座談會

濠洲の羊毛に代ふるに滿洲の羊毛を以てすべく名方面の輿望を擔ひ、資源調査に向へる日滿のエキスパートより成る滿洲畜産視察團一行四十二名は一ヶ月に亘る各地の視察を了し多大の收穫を齎らして二日午前七時着列車で歸京した一行は同十時日滿軍人會館に於て關係者と座談會を開催した

人事往來

▲劉夢庚氏（熱河省長）二日午前七時内地へ
▲鐘毓氏（黑河省長）同
▲李銘書氏（吉林省長）同
▲金名世氏（三江省長）同七時十分大連より
▲李文炳氏（新京地區警備司令官）同七時三十分公主嶺へ
▲田中弘之氏（滿鐵新京事務局地方課長）一日午後ヤマトホテル
▲菅野誠氏（滿鐵新京事務局庶務課長）同
▲佐久間章氏（同和自動車社長）同
▲山田彦三郎氏（民會長）同
▲野村庄太郎氏（日赤滿洲委員本部主事）同
▲中川望氏（赤十字社副社長）同
▲平岡文壽氏（聲樂家）同
▲モギレウスキー氏（音樂家）同
▲中村彌助氏（貿易商）同
▲淺沼謙三氏（商業）同
▲河野二男氏（ハルビンビール）同
▲佐藤富八氏（土木業）同杉山旅館
▲原寬雄氏（教員）同北滿旅館
▲淸水士男吉氏（同）同
▲桑原治作氏（同）同
▲濱田千秋氏（同）同
▲百谷重夫氏（同）同
▲富永小次郎氏（同）同
▲古川美夫氏（同）同
▲中島正夫氏（同）同
▲池田武平氏（同）同
▲長岡千代太氏（同）同
▲神近早苗氏（同）同
▲中村三郎氏（吉林鐵路局）同大和新館
▲今元盛市氏（同）同
▲大岡鐵夫氏（同）同
▲山本愛作氏（同）同
▲伊藤光義氏（航空會社）同新京ホテル
▲久世少佐　同
▲佐竹中佐　同
▲長谷川武氏（二等主計正）同
▲吉崎國夫氏（滿鐵）同
▲原田少佐　同
▲木村春雄氏（滿洲國少佐）同
▲吉井大尉　同
▲千葉正一郎氏（滿鐵）同國際ホテル
▲武藤貞四郎氏（鐵路局）同
▲井上忠良氏（同）同
▲香西角三郎氏（滿鐵）同
▲奧田明氏（安東稅關）同
▲谷山隆男氏（滿鐵）同
▲菅野義雄氏（會社員）同
▲谷村貞次氏（同）同
▲柳大尉　同富士屋旅館
▲武田萬治氏（滿鐵）同
▲西村又造氏（同）同太陽ホテル
▲上下龍平氏（商業）同
▲岡本健一氏（同）同國都ホテル
▲濱田有一氏（滿鐵）同
▲武野與三郎氏（古河電氣）同
▲堀内竹次郎氏（哈市航政局）同
▲青柳黨四郎氏（鐵路局）同旭ホテル
▲佐藤英吾氏（同）同
▲金卷正還氏（滿鐵）同
▲原子英雄氏　同ハルビンへ
▲廣瀨喜四夫氏　同
▲上加世成法氏　同大連へ
▲西川弘氏　同奉天へ
▲蒔田錢司氏　同公主嶺へ
▲川上市松氏　同奉天へ
▲前田喜八郎氏　同
▲上田一氏　同ハルビンへ
▲辻熊郎氏　同奉天へ
▲金田久氏　同海倫へ
▲三村林平氏　同ハルビンへ
▲河村慶人氏　同農安へ
▲赤松博三氏　同大連へ
▲田中佳門氏　同ハルビンへ
▲佐藤幸作氏　奉天へ
▲松村祿郎氏　同
▲藤村延次郎氏　同
▲永野豐氏　同奉天へ
▲田岡正明氏　同大連へ
▲朝倉通夫氏　同ハルビンへ
▲古川達四郎氏　同チチハルへ
▲渡邊柳三郎氏　同

團體

▲京城商工會議所員北鮮經濟視察團七名　二日午前六時十分ハルビンより來京
▲靜岡縣教育會視察團十名　同
▲京都市小學校教員視察團十六名　同午前八時二十分ハルビンへ
▲呼蘭驛主催南滿視察團四十名　同午前七時十分來京同午後十一時ハルビンへ
▲野外演習參加新京商業生、中學生四十名　同午前七時歸京
▲長崎縣東彼杵郡教育團十七名　同午後五時三十分ハルビンへ
▲滿洲畜産組合視察團四十二名　同午前七時來京
▲吉林師範學校生九十三名　同午前十一時三十分來京、同午後十時四十分大連へ

その日〳〵

□
首都を移し戰備に余念なき支那、エチオピアの二の舞を踏むや保し難し

□
新京銀座に今多から眠つてゐた演藝館の紛爭解決に新京署乘出す

□
そも〳〵許可當時から兎角の許、ある人は許可した者の責任さへ云爲してゐた

□
德川家達公令孫の訃に接し東京へ急ぐ、世が世なら滿洲まで來てゐまいが

□
お米が未曾有の安値を示しそう、勤人天下の國都に又しても勤人の味方

乳房ある悲み

（百五十九）

（鏡上演上映）　中西伊之助　作　武久　畫

紅薔薇燎亂（五）

『なんです？』

榊原はあわてゝきいた。

『あなたも手傳つてよ！』

華代子はフウフウと苦しがりながら、厚ぼツたい蒲團を押し入れに突ッ込んでゐた。

『はッ……』

『枕、枕がころがつてゐるわよ！向ふの隅に？』

華代子は叱りつけるやうにいつた。

『はッ……』

カチリと音がした。

『あら！あなた水差を蹴とばしちやだめよ！』

さう叫びながら、いきなり彼女は一枚後に殘つてゐる敷蒲團でぐいぐいと疊の上の水を拭き取つた。そして小聲で

『やあ……』

『まあ！……』

華代子は、化石したやうに眼をみはつたきり、騒ぐ胸を兩手で押へて、默つて突ッ立つてゐた。警察官の名刺の主は、つい宵に東京驛で別れて來た喬であつた。

『はッは、は、驚いてゐますね？目下流行の僞刑事ですよ……』

喬は、いつもの通り、朗かに笑つた。

『でも……』

華代子は、やつと吾にかへつて、急に顏を赭くした。そしてさすがにきまり惡げに俯向いた。

喬は迂散臭さうにあたりを見廻した。

『あなたお一人ですか？』

『えゝ、……あの……』

『よく見て頂戴よ、なにか落ちてやしない？』

『…………』

榊原は疊の上を犬のやうに這ひ廻つた。

『それからあなた、こんなことがあつても本當の名をいはないことよ、どうきかれたつて！……だから私、宿帳に妻なんかと書いてはいけないといつたんさ！そんなことさへ書かなければ、二人でここで相談することがあるから來てゐるんださいへばいゝんだつたのにね！でも、あなたはもう早くおかへりなさい！』

小聲で、口惜さうにまたさう叫んだ。

『あの、もうお通ししてもよろしうございませうか？』

女中が、やはり遠慮深くきいた。

『えゝ、いゝのよ……』

華代子の顏は蒼ざめて、聲が顫えてゐた。

さ、廊下を傳つて名刺の主がはいつて來た、華代子はその相手の顏を一目見ると、聲をあげてびつくりした。

『さうですか、まあごつちでもいゝ』

彼は座布團の上に座つた。

そこへ女中が茶や菓子などを持つて來た。

『構はないでくれたまへ、この人は僕の親戚の人でね、今晩は表向きの用件で來たんぢやないから……』

喬はさういつて、華代子の方へにやりとした。

女中がいつてしまふと、

『ばれると僕は官名詐稱罪とか何とかでやられるんだが、これでないと、とてもこんなところのお客には會はせないんですよ』

と喬はいつた。

『でも、どうしてあんな名刺があつたんですの？』

華代子は、少しく落ちついた。といふよりも、彼女は、すつかり度胸をきめてしまつた。

『なあに、先達てまで僕の家にゐた一宮のところへ尋ねて來る警察の連中のを一寸拜借したんです』

新京區公示第二十一號
新京中間區公示第八號
范家屯區公示第十號
會社職制改正に伴ひ滿鐵附屬地に於ける地方事務に關し總裁に於て左の通改正せられたり右公示す
昭和十一年九月二十九日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　武田胤雄

記
社告第三百一號
劉房子（劉房子を含ます）以北の會社附屬地に於ける地方事務は昭和十一年十月一日より新京事務局地方課長をして之を取扱はしめ地方事務所に關する諸規則を準用す
昭和十一年九月二十六日
總裁　松岡洋右

新京銀座の晒しもの 演藝館をどうする
一年間の紛爭解決調停役を 新京署が買つて出る

新京銀座の目抜きの場所に豪華な建物を新築して正月興業から四回開業したまゝ二月末には營業者と請負師間にごたくを起し

遂に

閉館の已むなきにいたつた演藝館問題について新京署保安係では調査を續けて來たが一刻も早く解決を告げぬことには國都の恥辱でもあるので小林保安主任は雙方の言ひ分を聽取した上署のとるべき方針を決定するため二日午前九時營業者永島、請負者松永兩氏及び雙方の債權者、その他各關係者六名を呼出し會議室で雙方の意見を聽取した、その結果永島氏の債權者側では永島氏から取るものは一物もない始末で全く困却してゐるから演藝館の所有者となつてゐる松永氏の方から涙金でも呉れと申出てをり、松永氏としても二月二十八日本登記濟み以來の損害額も甚大なもので涙金も出せぬと言ひ張つて約二時間半に亘る意見の交換を行つた結果、保安主任から双方に對し一兩日中に最後の讓歩點を決めた上再び署に參りその上で新京署の方針を

決定

することを約し十一時半散會した、右につき小林主任は語る

目拔きの場所ではあり、何時までも放置しておくことは各方面へ及ぼす損害額が大きくなるばかりでこれでは面白くないので一刻も早くけりをつけたいものだ、双方どの點まで讓歩し合ふか、一歩も讓歩出來ぬといふかその上で相讓らぬとなれば最後の手段として裁判沙汰となつて一日も早く蓋開けした方がいゝだらう、兎に角早晩決定されたいものだ

二回目の泥棒

一日午後一時ごろ城内西四馬路金城麻雀グラブに山東省生れ刑志玉（二七）が客を裝ひは入つて奥の間で就寢中の杭俊亭（五〇）のポケットに手を入れ一圓三十錢を窃盜し逃げ出したところを領警署金巡捕が逮捕し取調べると二十九日午後十一時半ごろ同クラブに侵入し衣類十數點時價百餘圓を窃取し入質して賭博で負けて二回目には入つた旨自供した

行商人刺さる、

一日午後九時四十五分ごろ寛城子飛行場前高岡組現場夜警露西亜人セーブロフ（三七）が現場苦力小屋附近を見廻り中二名の滿人が小屋から不意に飛び出し逃走するものがあつたので不審を抱き小屋内には入つて調べると行商人張海（四八）が咽喉部に長さ約八センチメートルの刺傷をうけ鮮血に染り瀕死の重態に陥つて卒倒してゐるのを發見所轄の總領事館警察署に屆け出でた、領警署では係員現場に急行臨檢を行ふとゝもに新京署と連絡加害者捜査につとめた結果李、張の二名なる事判明目下取調中

三人組强盜

城内東三馬路福綠街四號苦力頭翼樹德（五二）方に一日午後七時五十分ごろ三名組强盜（うち二名モーゼル拳銃所持）が侵入し家人を脅迫現金六百圓を金庫から取出し懷中に捻ぢ込んで逃走した、屆けによる。

克山、通化地方の 奇病病原發見
麥角の中毒で季節的傳染病 死亡率ペスト以上

昨年克山、通化地方に發生した病源不明の奇病は百三十名の生命を奪ひ民政部に於ては之が病源探究の爲龍江省公署を調査本部として各機關總動員の調査委員會を設置し本年八月十日より一ヶ月間に亘り發生及分布狀態病源に關する考察等に關し調査を行つた結果、この奇病は風土病的傳染病で季節的に發生し、男一に對し女五の割で女性に多く發生する事が判明し麥角の中毒なることが略々明かとなつたペスト菌以上の死亡率を有するこの奇病の病源體が明かとなつたので民政部では近く、その調査研究を發表する予定である

二十八日まで 二重放送試驗
本放送に劣らぬ内容

電々會社では既報の如く十月一日から新京二重放送のための試驗放送を實施したが、この試驗放送は本月二十八日まで引續き實施し二十九日から本放送に移る豫定である、試驗中の第二放送プログラムは次の如く試驗中と雖も本放送に劣らぬ内容あるものを放送する等聽取者に對する行き屆いたサービス振りを發揮してゐる。

▲午前一一、〇〇滿洲國歌告知事項、ニュース▲午前一一、四〇レコード、告知事項▲午後〇、〇一市況▲同〇、二〇朗讀、告知事項▲同〇、四〇建國體操▲同一、〇〇演藝、ニュース、講演、下午演奏▲同二、〇〇市況、日用品値段、告知事項▲同六、〇〇レコード告知事項、ニュース▲同六二五政府公報、告知事項▲同六、二〇講演又は朗讀、レコード、告知事項▲同七〇〇演藝、レコード、朗讀▲同八、三〇ニュース、市況、氣象通報、番組豫告、告知事項▲同九、〇〇演藝講演▲一〇、〇〇北滿の時間

オリムピック聖火の 世界的リレー
東京會場へも聖火を點火 副島伯ロンドンで發表

【ロンドン卅日發國通】第十二回東京オリムピック大會開催に當り當地滯在中の國際オリムピック委員副島伯はオリムピック聖火の世界的リレーを左の如く行ふ豫定と發表した、而して副島伯は我陸海軍大臣始めオリムピック委員たる人々は勿論名國關係方面にも右大計畫につき同意方を斡旋中だが、英米方面でも非常に乘氣であると

オリムピック開催に當り出來得べくんば同年二月十一日紀元節をトしてアテネを出發點とし サーチライト（聖火）で歐洲各都市をリレーした後アデンに出で其處から海路印度に渡り陸路シンガポールに繼走し同地から聖火を再び海路ヒリッピンに送り三度海路支那に繼走し上海に出で上海から我驅逐艦に搭乘して日章旗の保護の下に門司に輸送我皇祖發祥の地たる日向高千穗峰にのぼり建國二千六百年を奉賀し、それより伊勢神宮に參拜した後開會當日を期して國民大觀迎の沿道を走つて明治神宮に達すればそこで由緒深いアテネオリムピアよりの炬火は待受けられた明治神宮の宮司によつて恭々しく受取られ會場の太炬火はアテネの火によつて點火され皇紀二千六百年第十二回大會は過去十二回の大會開催地となつたアテネをはじめパリ、セントルイス、ロンドン、ストックホルム、アントワープベルリンと同樣東京でも大炬火を點火する段取りである

入京第二日の 村雲尼公

日蓮宗瑞龍寺門跡村雲日淨尼公の一行は信者と共に午前八時忠魂眠る忠靈塔前で讀經をなし終つて記念撮影、次いで新京神社に參拜、折からそぼ降る秋雨の中を滿洲國皇帝皇后兩陛下に面謁の爲め宮內府に赴き、軍司令官訪問、衞戍病院に傷病兵を慰問した、寛城子の戰跡で回向をなし一旦宿舍少憩の後午後は南嶺、の軍人會館に入り、六時記念公會堂に於る村雲婦人會新京支部發會式に臨み、式終了後左記の演題で講演會を催す

一、日本國と佛教（中山法城僧正）一、非常時と婦人の覺悟（西村慈　僧正）一、日本國體と滿洲（鹽出孝潤僧正）一、御親教（村雲尼公猊下）

オリムピック選手 晴れの凱旋近付く
—帝都入りは三日—

【東京國通】世界の青年を相手に堂々スポーツ日本をベルリンの空に示した我がオリムピック遠征軍本部は愈よ三日午前七時半東京驛着列車で晴れの凱旋をする、平沼團長始め本部役員、陸上の一部、ヨット、體操蹴球、ホッケー、馬術、蹴球、拳鬪、女子水上各選手合せて百餘名、大接戰の後遂に水の女王の榮冠に輝いた前畑孃もその思ひ出の櫻の木と共に帝都入をする、東京には體育協會並にオリムピック後援會共同主催の大歡迎會が準備されてゐる、そのために體育協會本部から櫻井理事の外各スポーツ團體代表十名はスポーツ船鹿島丸の入港する神戶まで出迎へのため既に三十日夜東京を出發した

安東窯業トラック 幼兒を轢殺

二日午前八時半ごろ安東窯業公司トラック運轉手宋寶龍（二二）が煉瓦を滿載して南

煖房器具の選擇は
本社主催 優良煖房器具展で 來る十六日から公會堂横で

いよく今年も結氷期が迫つて來ました、これから來春五月まで滿洲に住むものは如何にして寒さを防ぐかといふことが惱みの一つであります、電氣瓦斯いろくな煖房器はあります、また多くは蒸氣溫水等煖房裝置が施された建物が多くなりましたものゝまだくペチカ、ストーブによる採煖が一般的であります、本社はこれまで毎年この主としてストーブの展覽會を主催し全滿からあらゆる種類の優良なストーブの出陳を求め、其場で扱ひ方の説明から放熱の工合い、完全燃燒によつて煤煙防止が出來ることの實驗を行ひ、ストーブ購買者の便宜に供して居ります、今年も來る十六日から三日間、吉野町公會堂横の空地に會場を設け第四回優良煖房器具展覽會を開催します、尙今年は煤煙防止委員會が設立され國都の煤煙禍を絶滅しやうと着々準備をすゝめて居りますから、この方面と協力して石炭の焚き方如何によりて完全燃燒が行はれ從つて飛散する煤煙が少くなり、しかも何如に經濟的であるかを説明して貰ひ、或は印刷物によつてその徹底を期することゝなつて居ります

中學、商業生歸校

聯合演習のため撫順方面に旅行中の新京中學、新京商業學校生徒は二日午前七時十分着列車で職員生徒多數の出迎へをうけ元氣で歸校した

德川公歸京

來滿中令孫家英氏の計報に接した德川家達公は日程を變更して二日午前七時新京驛發列車で急遽歸國の途についた、驛には關東軍參謀副長今村均子爵大島蓬太郎、憲兵隊本部馬場龜格、大使館山本書記官中野總領事代理、赤十字社員少年赤十字代表等多數の見送人に〃御氣嫌やう〃の言葉を殘してフォームを離れて行つた

嶺街道を金輝路に向つて北方に疾走中向ふから來た一台のトラックをさけんとした際道路で遊んでゐた男兒揚家屯王柄臣（七ッ）が後車に觸れ頭部を粉碎して即死を遂げた

武田夫人送別會

新京婦人團體聯盟主催前地事所長武田胤雄氏夫人の送別會は五日正午からヤマトホテルで開催する、會費二圓多數會員の參加を希望すると

植田處長母堂葬儀あす午後一時

故植田ひさ刀自の葬儀は三日午後一時より長春堂に於て執行するに決定（既報二時は誤り）

沖繩本島に 颱風
被害甚大

【那覇國通】一日午後四時頃から沖繩本島を中心に卷き込んだ颱風は夜に入つて益々猛威を振ひ、風速四十米を突破して物凄く荒れ出し、那覇市内は市役所の非常サイレンを合圖に非常警戒に入り、夜に入ると共に門戶の固く閉ぢて武裝を固め、沛然たる豪雨を伴つた嵐に全市は死都の如く凄慘を極めたこの嵐の中に沖繩近海で出漁中の沖繩縣水產會所屬の發動機船七隻が消息不明となつて乘組員五十餘名の生命が氣遣はれ、海岸線に沿ふ各町は浸水二尺に達した農作物及び第二期作の植付け

特產中央會協議

滿洲特產中央會では三日午前九時から軍人會館で康德三年度改良大豆市場出廻り助成事業に關する協議會を開催するが、昭和十年度の事業成績は過去數年間に比較し格段の不成績でこれが原因は水豆の多量產出にありと言はれてゐるなほ附議事項は次の通りである

一、康德三年度改良大豆市場出廻助成規則制定の件
一、康德三年度改良大豆檢査標準見本作成の件

毛皮の展示會

嚴寒の候を目前に控へて新京驛前大興公司滿洲土產品陳列所ではツーリストビューロー階上の同所において來る四日から七日までの四日間、午前九時より午後五時まで滿洲向の毛皮の標準規格を作ることを目標に新舊毛皮の展示會を開催することになつた、同公司は數十年來毛皮取扱に從事しており、展示會では最も滿洲の防寒に適し然も一番經濟的なものを新舊多數取揃へて一般の展覽に供すが、希望者は標準的なものを擇定の上購入出來る事となつてゐるから多への防寒用具の準備には絶好の機會であらう、展示される毛皮の種目は次の通りである

紳士、御婦人用外套及襟皮、男女兒童外套用毛皮類、敷皮類其他、テン、キツネ、リスカワウソ、アナグマ、ハヲロン、ヤマネコ、オオカミ、ヒツジ、トラ、ヘウ其他なほ代金支拂方法は現金賣を根本として居るが多人數取纏め勸先會計課連絡出來る顧客には特に月賦賣の相談に應じることゝなつてゐる

天氣と氣溫

明日の天氣	南西の風曇り小雨一時晴
日の出 前	五時三八分
日の入 後	五時一七分
月の出 後	六時二三分
月の入 前	八時三一分
けふの氣溫 最高	一八度
最低	八度八

靈狐術公開
三、四兩夜公會堂

希望次第如何なるものでも即座に手元に屆けてみせるといふ寶珠齋靈光師の靈狐術の公開は三、四兩日に亘り毎夜六時より記念公會堂において開催される、他にジャズの演奏もあり料金は大人八十錢、小人四十錢である

グライダー教官 養成講習會

【奉天國通】滿洲飛行協會では所澤飛行學校鈴木大尉指導の下に奉天でグライダー教官養成講習會を開催中だが更に防空協會奉天支部と協力、折柄實施中の防空演習を機として五、六、七の三日間同講習會に助教として參加する大每松下、志鶴兩飛行士等に依賴五日午後二時から東飛行場にて各種グライダー操縦並に高等飛行を一般に公開することゝなつた

新都病院 新築落成

饒村佑一博士經營の新都病院は梅ヶ枝町本院狹隘を告げ昨年來特別市蕊光路と興亞街角に大規模の病院新築中の處竣工、來る七日午後二時から落成式を擧行、同所を本院に梅ヶ枝町舊病院を分院とすることゝなつた尙同日はかねて設立認可となつた修養團新京新都病院支部發會式を擧行し、閑院宮殿下御令旨および團旗樹立式を擧行するので各方面に傳達案內狀が發せられた

岡田家の慶事

市內日本橋通り平本洋行主岡田榮一氏は奉天春日町服部洋行主服部久米三郎氏長女紀美子さんと一日午前十一時新京神社大前で結婚式を擧げ同日午後からヤマトホテルへ親戚知己その他百數十名を招待披露宴を張つた、席上媒酌の北原廣氏の新郎新婦を紹介の挨拶があり、これに對し來賓を代表して塚本博士祝辭を述べ祝言の謠曲長唄舞踊等あり盛宴であつた、因に新郎は新京商業新婦は奉天高女の出身である

支那古美術即賣

西四馬路に在る遵古齋は三四五の三日間公會堂で古代陶磁器、古銅器を始め支那古美術品を正札附で即賣する

永樂增築 吉野町三ノ

一五料亭永樂では家屋の狹隘を感じ擴張工事中の所すつかり改裝成り、尙三階は時に善美を極めた大增改築が竣工愈よ盛大に開店した

第一生保選擧行

第一生命保險相互會社では三日午前九時から公會堂にて滿洲國及び關東州の社員總代選擧會を開催する

生長の家座談會

生長の家新京相愛會座談會は定例により第一土曜の三日午後六時から羽衣町二丁目向井多免氏方で開催される

つばめ開店 吉野町二

丁目元「魚茶屋」の筋向ひに開店した喫茶「つばめ」では一日午後六時より關係各方面を招待して開店披露を行つた

黎明舞踊

黎明會舞踊練習會は三日午後三時から公會堂で開催される

あす（三日）

▲體育デー
▲各小學校生徒競技、午前十時半、西公園競技場
▲大同報社主催マラソン大會午後一時、大同廣場
▲故植田ひさ刀自告別式、午後一時、曙町長春寺
▲靈狐術の會第一夜、午後六時公會堂

今晩の主なる演藝放送

▲六・三〇座談會「國立公園を語る」（東京）▲七・〇〇獨唱と管絃樂（東京）▲七・三〇浪花節（新京）蛟龍齋青雲▲八・一〇追分節（札幌）船木賢治

館令第八號

商租權整理ニ關スル件
商租權整理ニ關シ左ノ所爲アリタル者ニ對シテハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

（一）商租權ニ關シ滿洲國當該官吏ニ對シ虛僞ノ權利ノ申告ヲ爲シ若ハ虛僞ノ意見ヲ申立テタル者又ハ滿洲國當該官吏カ整理ノ爲必要アリト認メ爲スコトアルヘキ訊問ニ對シ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者

（二）商租權ノ目的タル土地ノ調査及測量ノ爲土地ニ立入リ標識ヲ設置シ又ハ障碍物ヲ除去スル滿洲國當該官吏ノ行爲ヲ阻害シ又ハ其ノ設置シタル標識ヲ毀壞若ハ除去シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ無效ナラシメタル者

（三）滿洲國當該官吏カ整理ノ爲必要アリト認メ實地ニ立會ハシメ若ハ訊問シ又ハ證據書類ノ提出ヲ命シタル場合正當ノ理由ナクシテ其ノ命令ニ違反シ又ハ其ノ訊問ニ對シ陳述ヲ爲ササル者

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年九月三十日
在新京
總領事代理　中野高一

・新映畫評・ 海鳴り街道
日活トーキー

◇……稻葉小僧新助が十年ぶりで生れ故鄕に歸つてみると、父親は病床にあつて明日知れぬ命、許婚の娘にも今はお互に戀し合つてゐる若者がゐる、追れる身ではあつたが新助一生一度の孝行、父親の家に腰を落着けたが、江戸の目明じと共に來た昔仲間を殺したことから足がつき遂に逃れて再び江戸に去るまでの新講談、三村伸太郎のオリヂナルものであるが、この程度のネタなら特別書き立てる程のこともない。

◇……三村、山中といへば日活の、といふより日本時代劇映畫界の最高スタッフである、がるが故に、興味以外の何ものをも狙ひ得ないかゝる題材を處理する上においても此の人達一流の美事な作法と豐かな感情が、整然と實に危氣のない構成を以つて展開するのだ、然し問題は處理法ではない、處理される題材の優劣如何の上にある、手取り早く言つて了へば此の最高スタッフがこのやうな新講談種をもつて自分達の本領としてゐるが如き安易な態度が不可ないのである、成瀬巳喜男が「桃中軒雲右衞門」に嚙みついた氣慨が欲しいので

◇……脚本は前半の調子がいゝ、新助が代官親子を殺さなければならないのは理由である、事實題名を見たゞけで内容の想像がつくやうな易々たる取材態度はもう頂けないものである。

が薄弱であるし、おちかとの交渉をあゝ綺麗に片づけてあるのも、新助の性格を單純にして見せたやうな悪い結果を生んでゐるやうに想はれた、山中流と言ふのであらうか例によつてロングが多い、遠くに延びてゐる街道の彼方で人が話合つてゐる、するとその話聲は近くで話してゐるのと同じ聲に聞えるのである、勿論これは映畫のリアルの上では問題ではないのであるが、なぜかう不自然さを感じさせてまでロングにこだはる必要があるといふのであらうか、感情の抑揚は綺麗なだけでは不可ない、時には強烈に爆發してみせる必要があるのだ。

◇……役者では傳次郎の主役は適役である、他に淸川莊司の安藏は好しい三枚目ぶりであつた、鳥羽、香川、橫山、鬼頭、今成等の助演も惡くはない、山陰方面のロケーションも美しい背景を添へてゐる。興行價値も申分なし。豐樂劇場、新京キネマ上映中、寫眞は大河内と淸川莊司（N生）

松竹大船の 十月封切陣容

炎天の猛威も遂に雲散し凉秋の氣迎へるに及んで俄然映畫界の動きは活潑となり愈よ本格的なシーズンに入つたが十月以降に封切られる松竹大船の重なる豫定を擧げると次の如し

▲人妻椿（前篇）‖野村浩將監督トーキー作品、主婦の友誌上に連載中の小島政二郎氏原作の人氣小說の映畫化で佐分利信、江原謙、川崎弘子、三宅邦子等が熱演してゐる、浩將監督が珍しく手を染める文藝映畫

▲朱と綠‖島津保次郎監督トーキー特作品、大朝東朝に連載され異狀なセンセーションを捲起した片岡鐵兵氏原作の映畫化で原作者の希望に依り島津監督が乘り出した物する巨篇で、高杉、重峯、上原、佐分利等の主要キャストが決定十月一日開始の運びとなつてゐる

▲わが母の書‖池田義信監督超特作映畫、大船が全機能を擧げて世に問ふ問題の超大作で文字通り大船スター總動員の豪華キャスト編成で愼重準備中のところ愈よ撮影開始された

▲新道‖五所平之助監督トーキー大作、菊地寛氏原作大每東日連載長篇小說のトーキー映畫化で五所監督の新境地開拓意圖を以て愼重に構へ鋭意製作に沒頭してゐる、田中、川崎、桑野、三宅、上原、佐分利、佐野等第一線スター動員

▲女のいのち（つばくろの唄）改題深田修造監督作品、週間朝日連載の「つばくろの唄」を荒田正男が脚色した小島政二郎氏原作の長篇映畫化である、之には新鋭深田監督がその衝に當り最近賣出しの桑野通子、日下部章が出演してゐる

▲博多夜船‖宗本英男監督トーキー作品、流行歌映畫に斷然氣を吐いて居る宗本監督が「下田夜曲」「潮來追分」の長打に次ぐ自信篇で四百六十篇の懸賞募集の應募中から撰ばれたストーリーで荒田正男が脚色するものである

早稻田演劇協會 國際文化部 新設

【東京國通】國際親善は御芝居からと言ふ譯で今度早稻田演劇協會では國際文化部を設け歌舞伎を始め能、操人形等日本古來の演劇を海外に紹介する一方諸外國劇團と緊密に提携し、日本劇團の進歩向上を圖ることになつた

最近諸外國に著しく高まつた歌舞伎熱も從來適當な紹介機關がなかつた爲些か戶惑ひの形であつたが、今度設置される國際文化部によつてその不便も一掃される筈で、演劇に關心を有つ訪日外人も文化部の手引によつて充分に芝居見物が出來る譯だ

尚この文化部の事業は國際觀光局も極力援助する事になつ

「豪快男一代」配役

村上浪六の傑作小說の映畫化新興キネマ創立五週年三大作の一「二筋道」に着手した曾根千晴監督は、新たに大作全發聲「豪快男一代」をこれと併立撮影することゝなつた原作は村上浪六の快作「當世五人男」で曾根監督自ら脚色カメラは古泉勝男擔當である配役は五人男の外、山路、毛利等大スターを並べた豪華陣で秋の大作中の一偉觀として期待される

里田健次（河津淸三郎）、倉川上三吉（管井一郎）、上田橋幸藏（岡崎光彥）、吉田（松尾文人）（岬洋兒）、實業家富田（大友壯之介）、娘よし子（毛利峯子）、佐原男爵（加藤精一）、同夫人（田中筆子）、おしまの伯父（淺野節）、泥棒（ジョーオハラ）、車夫（上田寛）、おしま（山路ふみ子）

カフエー箱根の靜子、雲雀文子の三タンが前のおでん屋でおたふくで雀のやうに押し合つておでんをつゝいてゐたが▼雲雀と文子クンは朝から飯を食つてゐないと、喰べること、喰べること、ご飯のお替り五杯づゝ平らげて仕舞ひ、その上まだ食い足ぬと見へておはちの底をガサガサガサかき寄せてゐた▲でも流石に茶腕までは食へなかつたとみへて茶碗と箸だけは殘して一圓五錢拂つて出た▲食慾の秋、あゝ天高くして馬と共に肥ゆサロンキングのマダムこの間男の兒を產んで母子とゝもに健在、老ひてます〳〵盛んなと見へます、お目出度しく

艦隊を追つて

△RKO作品、「トップハット」のフレッド・アーステアとジンヂャー・ロヂャースのチームが主演する映畫で、脚本は同じく「トップハット」のアラン・スコットとドワイト・テイラーが協力して當り、監督にはバンドロ・S・バーマンが當つた作品、作歌と作曲にはアーリング・バーリンが書卸し、助演者としてランドルフ・スコット、ラヂオ歌手ハリエット・ヒリアード、アストリット・オールイン、デヴィット・エーベル等が顏を並べ、今度は御兩人のタップと總の達引がアメリカ大艦隊を舞台として展開する、豐樂新京キネマ上映中、寫眞はアーステアとロヂャース

雑音

豐樂劇場初日は仲秋と重なつていゝ入りを見せた、「洋畫の强力なのが揭ると此の通りだ」と言つてゐたが、同じ寫眞をかけながら新京キネマとかうも判つきり客筋が相異してゐるのは、失張り競はれない現象である▼フレッド・アーステア、ジンジャー・ロヂャースのチームも流石に「艦隊を追つて」では精彩を缺く憾みがある、あの手この手のタップダンスも甚だ苦しさうであるロヂャースの方は今度は餘り活躍してゐない▼期待した「風流深川唄」もさつぱり駄目、淸瀨英次郎の荒い感覺では明治の江戶深川の情調と人とを、とうてい描けさうにもない、加へて中山延見子のあの醜態ぶりだ、得るところなしとするも極言でない

支那の現銀流出は時局不安の逃避

南京政府では在外資金と稱す

【上海一日發國通】中央銀行の對米現銀積出は本年一月より九月初めまで一一、六九八萬元、九月廿六日プレシデント・タフト號で一、二五〇萬元、二十八日プレシデント・フーヴアー號で一、一五九萬元、三十日プレシデント・マツキンレー號で二、八五二萬五千元、合計一億九千元の巨額に上り南京政府當局は在外資金と稱してゐるも戰爭見越しの資金逃避なることは確かである、銀塊一千六百萬元が上流四川方面に現送されたことは益々之を裏書するものでり廿六日フラン切下による外貨買は依然繼續されて居り、これ亦時局縣念によるものと見られる、支那商人筋の買は既に八百萬米弗に達してゐる

上海取引市場に悲觀空氣漲る

―各市場共に相場暴落―

【上海一日發國通】二、三日來南京政府部内の強硬態度と今日の中山事件公判に對する我が陸戰隊のバリケードまで持出す嚴戒振りに支那商側は樂觀的で各取引所内外ともに平穩に見受けられたが、昨日最早や時局の惡化必然と見て朝來本格的悲觀人氣に陷り綿糸市場は四元、棉花市場は六十錢、殊に公債は一元八十錢の大暴落を演じた、閘北方面より北四川路一帶に亘る避難民の續出、財政部長孔祥熙氏の消極的態度、市政府、中央銀行及び造幣廠等の重要書類印刷機等の搬出移轉開始等の報を入れ極く惡人氣で午後七時大引した

三井、三菱　支那商との新取引見合す

【上海一日發國通】時局不安を入れ當地三井、三菱その他日本筋商店は支那商との新取引契約を本一日より暫時見合はすことになつた

本年九月末迄の入超　二億五千萬圓

棉花、重油の輸入增加す

【東京國通】一月以降九月末迄の全國輸出入貿易を見ると輸出も僅か乍ら增加したが、輸入の增加著しく特に第一、第二四半期中に於る入超增が目立つたゝめ二億五千廿萬二千圓の入超となつた、即ち輸入の内棉花は八千百萬圓を增加したが、これは纎棉輸入の奬勵によるもので内地在貨の增大を示すものであり、羊毛は數量、單價共に增大し量で一割五分を增加し、單價で一割五分を騰貴したゝめ全體では五千百萬圓と約三十割を增加した原重油の增加は燃料資源を豐富ならしめるためで、又豆類の增加は製油の上輸出するためである、次で輸出では綿布が約一割を減少したが輸入防遏の最も甚だしい綿布に於てこの程度の輸出減は已むを得ないものとされてゐる又雜品は十億一千九百萬圓と八品系の八億九千四百萬圓を遙かに超過して輸出總額の五十四パーセントを示してゐる斯くて輸出に於ては前年より五パーセントの增加に拘らず原重油は十三パーセントを增加したゝめ前年同期の入超四千七百萬圓に比較して本年の入超は一億六千二百廿九萬圓の增加となつた譯である

電力聯盟　天津電業を援助

【東京國通】電力聯盟では來る十三日午前十一時丸の内銀行倶樂部で委員會を開き八代結城各顧問及び五大電力會社々長出席の上囊に興中公司の傍系會社たる天津電業公司の招待により同地方の電氣事業等を視察して最近歸朝せる内藤日電副社長一行より北支地方の視察報告を聽取した後天津電業公司に對する事業上の援助方針等につき協議する事となつた

五大生保會社には小額契約禁ず

＝中小會社救濟の政策＝

【東京國通】商工省では曩に生命保險の一人當り最高保險金額を二十萬圓より二十五萬圓に引上げたが、今回最低保險金額に就ても五大生保會社には一千圓以下の新規契約を取らしめない事に方針を決定右の旨各社に對し慫慂するところあつた、即ち現在五大生命の契約金額は内國生命總契約高の約六割强を占め、然もこの大會社への契約集中の傾向は益々激化しつゝある現狀を放任すれば低金利による資金運用難の重壓と共に中小會社は益々苦境に立たざるを得ず、商工當局今回の措置はこれ等中小會社苦境打開にあるが、最近簡易保險最高保險金額引上げの問題化しつゝある矢先、生保行政の一つの暗示として注目される

土建ニュース

▲新京保線區
決定工事
▲南新京―新京間六九九K一〇四M六九九K四二〇M外一七ヶ所下り線左側溝浚渫工事
落札　一百四十圓六十錢　丸山組
一九九、三五　大同組
三九、七五　畠山組
▲南新京驛構内六九四K四〇〇M六九七K一〇〇M間上り線側溝浚渫並排水土管修繕工事
落札　四百四十四圓　戶田組
七三〇、〇〇　三田組
七六八、五〇　義合祥組
▲新京驛構内東扱所五〇七號倉庫前路西代繕工事
落札　二百二十四圓六十六錢　戶田組
三三七、五五　福高組
三四一、三三　岡組
▲范家屯―大屯六七六K七二〇M六七七K三二〇M間下り線々路甞置工事
示談　一百八十三圓五十錢　大同組
二回
二、一三一、五〇　大同組
二、一四八、三五　原組
二、二六六、〇〇　京城土木
一回
一、三二六、四三　京城土木
二、三四一、九〇　原組
二、六八、九〇　大同組
▲新京驛構内貨物野積場地均工事
示談　一百八圓　森本組
二回
一、一八〇、〇〇　右同人
一回
一、二五一、〇〇　右同人
▲觀察井用緣石購入件
落札　六百九十圓　▲市公署
六九七、〇〇　多田工務所
七三五、〇〇　福昌公司
八八〇、〇〇　鐵嶺田中組
▲九台支行金庫室新築並に來建物舖修工事
示談　二千四百圓　▲中央銀行　大信洋行
▲新民支行金庫室新築工事
單獨　一千九百八十圓　一郡組
二、四四〇、〇〇　一郡組
二、五〇〇、〇〇　西本組
▲黑山學城義縣彰武各支行金庫室工事
單獨　八千八百五十圓　辻組
▲新發屯第五路面鋪裝工事　▲國都建設局
落札　七千八百五十圓　松村組
七、六九五、一五　京城土木
八、二四三、〇〇　昭和工務所
八、三四〇、〇〇　倘厚溫
八、五六〇、〇〇　椿組
八、七三三、〇〇　千々岩工務所
八、八七五、〇〇　大信洋行
▲拉々屯無電台道路築造工事
落札　四千七十五圓　志岐土木
▲大連市下萩町市營住宅新築　●大連市役所
落札　二十七萬七千圓　田中工務所
二六九、〇〇〇、〇〇　板井組
二〇八、六〇〇、〇〇　石井組
二八、〇〇〇、〇〇　戶田組
三二一、〇〇〇、〇〇　共進組
三三五、〇〇〇、〇〇　草場組
三五〇、〇〇〇、〇〇　辻組
三五〇、〇〇〇、〇〇　蔦井組
三六六、四〇〇、〇〇　●地方部
豫告工事
▲淺間町碎石車道築造工事
開札　四日午後二時
▲吉林大路兩側幾部道型築造及宅地造成工事
示談　一千六百八十一圓八十二錢　共和組
四、三三〇、〇〇　岡組
四、六二〇、〇〇　義合公司
四、六六〇、〇〇　福高組
四、八九二、〇〇　阿川組
五、一五〇、〇〇　酒井組
一、八二五、五〇　吉原組
▲禁衞步共同營房給水裝置工事　▼營繕需品局
單獨　一千三百圓　清水組
豫告工事
▲大連入船町第二棟炭工場新築其他工事　●工事々務所
開札　近日中
▲埠頭第三三號建物を周水子警戒犬訓育所調敎室に移轉改築工事　●鐵道事務所
開札　二日午前九時
決定工事
▲大連水上警察署留置場保護室水洗便所新設工事　●埠頭保線區
特命　百二十五圓三十三錢　日本工業

今日の職場は、役所でも、會社でも工場でも、その仕事が極度に機械化されてゐる、そこで働く者の仕事は極度に機械的な、細分されたものになつてゐるそこから來る單調さが近代人の倦怠と苦惱とを生んでゐる▲で一人の論壇人は、その機械化された毎日の仕事をいやいや强制されてやるのでなく自ら意識して逆にこつちから進んで機械的に遂行することを勸めてゐる、自分が機械の部分品にされてゐるといふ意識から一歩を進めて自分の方から積極的に部分品化することに努めることだと▲その他方に於いては、現實の社會情勢全體に對する歷史的且つ科學的な見通しを持つことが要求されてゐる、さうすれば局部的な非人間的な仕事との間にあるギャップが當然に見出される筈だ、その時現代社會の分裂矛盾を意識することに積極的な意義があるといふのである▲曇る空の下で凝視する白い手か

長春酒

滿洲國の石油問題と撫順製油事業の國家的意義（八）

撫順頁岩油事業の特異性と分解揮發油の特質

油母頁岩即ちオクルセールは世界各地に存在し殊に米國獨逸英國等には莫大な埋藏量があり極東に於ても滿洲廣東地方に相當量埋藏されてゐる、此の油母頁岩より油を得る方法は古くから研究されたが歐洲戰爭當時各國油源調査熱が旺盛となつた頃から工業化され現在此の種採油を繼續してゐるものは英米エストニヤ諸國で米國等は礦油豐富な爲め未だ實驗の域を脱してゐない就中最も發展したのは英國でスコツトランドでは八十年前から此の工業を起し歐洲大戰中は年額約三〇萬噸の頁岩油を生產し油饑饉に當面した母國の作戰に非常な貢獻をなしたと云はれてゐる、尤も現在では勞銀の昂騰と領土内石油資源開發の爲め著しく事業は衰退を見せてゐる由である、之に反し撫順の頁岩油工業は今日旭日の勢を以つて發展途上にスタートしつゝある、東西一九粁南北二粁に擴れる石炭層の上盤を覆ふ厚さ一、二〇米乃至一四〇米の頁岩層は南北に露頭を現はし北方に及ぶにつれ次第に傾斜下向して最低一、二〇〇米の深所に到る斜層をなし其の推定埋藏量は五四億瓲と稱せらる此の鑛區の最も興味あることは油母頁岩が東洋一〇古城子露天掘區域の上層部を覆てゐる爲め石炭を採掘するに當然剝離されなければならない運命を持つてゐることで其採掘費は殆んど雪に等しいと考へても良いのである、斯の如き好條件に惠まれたものは世界の何れの國にも其の例を見ない是が今日の撫順製油事業の工業的値價を大ならしめた所以である前述スコツトランドの如きは頁岩を得るために石炭を掘り出すと同樣の方法で稼業してゐる爲採掘費は總經費の五分ノ四を占め著しく企業價値を低めてゐるが撫順は採掘費を要しない許りでなく採油に適しない粉粒はセメント工業に塗られ優良なるポートランドセメントの主要原料となり採油後の廢頁岩は坑内採炭後の充塡用として使用してゐる等殆んど無駄がないのである古城子露天掘か地表下三〇〇米迄經濟的に可能とすれば其のため採掘される頁岩量は二瓲に達すべく含油量五％と見て一ケ年二、〇〇〇萬瓲の頁岩より一〇〇萬瓲の原油を採るとして優良一〇〇年間の採掘に耐へ得る程有望なる資源である、又假りに全埋藏量五四億瓲より平均五％の原油が得らるゝとして其の原油量は二億七千萬キロトンで米國天然油埋藏量十四億三千萬キロトンの約五分ノ一に當り日本の今後一ケ年重油消費量を二〇〇萬キロトンとしても一三〇年間供給可能といふ莫大な數字となる、抑も此の撫順頁岩が發見せられたのは明治四十二年で翌年には早くも『燃える石』として化學者の試驗に上り爾來滿鐵中央試驗所海軍燃料廠等に於て實驗室的研究が開始せられ年と共に研究熱が高められたが本工業は歐洲大戰に依て一段と拍車をかけられ大正十年には分析試料を遠く瑞典獨乙に送り工業試驗を依賴し更に大正十三年には大量資料をスコツトランドに送附し社員を派遣して之を研究せしめた、當時最も懸念せられたのは撫順頁岩は品質良好でなく地表に近い部分は含油量一〇％以上のものであるが炭層に接近せる部分は僅か二％程度に過ぎず平均五・五％位で斯る貧鑛かスコツトランドの如く含油量十四％のものを用ひてすら尙採算困難を傳へられた當時果して企業として成立可能なりや否やといふ點であつた、幸スコツトランド式試驗の結果は技術的には豫想以上の優秀なる成績を擧げたが結局生產費高き爲め工業化困難との結論に達し一時本工業も挫折の運命に逢つたが滿鐵は其の國策的價値の重大なるを痛感し滿鐵獨自の考案に依る内熱式乾溜法を考案し試驗工場を設置し大正十五年より昭和二年迄文字通り不眠不休の研究を續け遂に本企業を採算圈内に漕ぎつけたのである、此間に要した經費は五十萬圓で二十年間に涉る凡ゆる苦心努力も遂に實を結ぶに至つた、即ち昭和三年一月愈よ撫順式製油工業として工業化せられることに決定し當初は一日百瓲年額三萬六千瓲の油を採る計畫であつたが山本總裁時代製油事業の重要性に鑑み七萬五千トンの計畫に變更し昭和三年四月工事に着手し同五年五月には一晝夜四、〇〇〇トンの頁岩を處理し得る撫順式大製油工業が成功したのである（續く）

（寫眞は撫順製油工場コークチャムバー）

満洲国新制　度量衡器　指定販賣店　久永洋行　ダイヤ街梅ケ枝町　電③二八六五番

商況欄

（十月二日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊　一九片一六分一五
同先限　一九片一六分一五
紐育銀塊　四四仙四分三
孟買銀塊　四八留比二分一
米英爲替　四弗九二仙八分五
米日爲替　二八弗八〇仙
米支爲替　二九弗六五仙
スチール株　六七弗八分七
アナゴンダ　三八弗八分五
英日爲替　一志二片一六分一
英支爲替　一志二片三分三
印日爲替　七七留比八分三

▲米棉
現物　一二仙六四
十月限　一二仙三四
十二月限　一二仙一八
一月限　一二仙一七
三月限　一二仙一三
五月限　一二仙一三
七月限　一二仙〇一

▲印棉
ブローチ　二二一留比
オームラ　一九八留比
ベンゴール　一五七留比

▲市俄古小麥
十二月限　一弗一三仙八分一
五月限　一弗一一仙二分一
九月限　九八仙四分一

▲カルカツタ麻袋
青筋　二一留比一六分五
鐵筋　一九留比一六分七

金銀市況

●上海標金
昨引　一一三七、八〇
本寄　一一三九、〇〇
歩　＝

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回賣買　一〇二、一二五　一〇二、三七五

▲大連爲替
▲紐育向
第二回賣買　一志二片一六分五　一志二片二分二
第一回賣買　二九弗一六分九　二九弗二分一

▲上海向
一〇二、四五　一〇二、四〇

▲靈台向
一〇二、四五　一〇二、五〇　六萬五千

▲阪神日米爲替
第一回賣買　二九弗一二分一　二九弗八分五

▲阪神日英爲替
第一回賣買　三〇弗一六分三　一分一

▲倫敦向
第二回賣買
第一回賣買　一志二片一六分五　一志二片三分九

各地株式市況

▲東京株式（短期）
東新　寄付
鐘新
滿鐵

▲大阪株式（短期）
東新　寄
鐘新
大新
日　產
日　魯

▲大連株式（短期）
五　品　寄
豆　新
錢　鈔
東　新
滿　鐵
二　產
日　新
鐘

▲奉天株式（短期）
滿　取　寄
東　新
大　新
日　產
五　品
豆　新
鐘　新
滿　毛
優　先
滿　鐵
二　新
電　甲
同　乙
東　拓
滿　興
日　畜
東　盃

各地商品市況

▲大阪棉糸
十月限　寄付　大引
十一月限
十二月限
一月限
二月限
三月限
四月限

▲大阪棉花
當限
先限

▲大阪人絹
當限
先限

各地特產市況

●大連大豆
袋入　寄付　大引
九月限
十月限
十一月限
十二月限
一月限

●同豆粕
三等現物

●同豆油
現物
九月限
十月限
十一月限
十二月限
一月限

●同高粱
現物
八月限
九月限
十月限
十一月限
十二月限

●哈爾濱大豆
現物
十月限
十一月限
十二月限
一月限
二月限

●同小麥
九月限
十月限
十一月限
出來高　二一〇車

●同
九月限
十月限
十一月限
出來高　二一〇車

新京取引所市況

（九月二日前場）（一石値殺）
現物　寄引　出來高
大豆
高粱
小豆
玉蜀黍
大豆
九月限
十月限
十一月限
高粱
九月限
十月限

お酒は慶典

十月八日　土曜　戊午　先勝　收　胃宿　一月十六日

●一白の人　何等の障害なくして大發展を遂ぐる大吉日乙と丑と艮が吉
●二黑の人　身心動搖して物事埼明かざる不安日諸事凶丁と未と申が吉
●三碧の人　手紙書付等人の手に殘るものには注意の日乙と巳と庚が吉
●四綠の人　一家は至極平穩なり徐に進めば望自ら成る乙と庚と丑が吉
●五黃の人　思慮分別さへ確かなれば過ちを招く事なし巽と未と壬が吉
●六白の人　勇氣を養ふて後日に備へ妄動せざれば安全丙と丁と癸が吉
●七赤の人　九分九厘迄成就しても殘の一厘にて敗あり甲と乙と壬が吉
●八白の人　力を量らず無理に進めば損失破財を生ぜん巽と壬と癸が吉
●九紫の人　心和かに物事に焦らざれば追々と望を達す已と庚と辛が吉

新京日日新聞

對支…桑…

川越大使に政府の眞意傳達 我主張の貫徹を期す

【東京國通】二日の有田外相、永野海相、梅津陸相代理等の政府首腦部會議に於て對支交渉の最後的具體的方針が決定したので、有田外相は右方針傳達のため特に桑島東亞局長を南京に急派し川越大使に政府の眞意を傳達し川越、蔣兩氏會見を側面的に促進せしめる事となつた、尚ほ桑島東亞局長は二日午後九時三十分東京發三日神戸出帆の長崎丸で上海に急航、更に定期航空便で南京に向ふ筈である

（寫眞は桑島東亞局長）

外務當局談

【東京國通】桑島東亞局長を南京に急派するに決し外務當局は二日午後零時半左の如く發表した

今回の日支交渉の結果は日支關係が頗る好轉するか或は非常に惡化するかの重大なる意味を持つものであつて、この際支那側と日本との握手が出來るか否かの重大岐路に立つてゐるのである、よつて帝國政府は愼重なる態度を以て交渉に當りつゝあり、同時に現在の時局は頗る重大なるものがある、と思考して居るはよつて帝國政府の眞意を蔣介石、張群氏等に充分徹底せしめる必要があるので、今回の交渉開始以來電信の往復により隨時帝國政府の意向を傳達したが電信を以てしては充分その意を盡さぬ憾みがあるので有田外相は二日桑島東亞局長を至急南京に派遣し川越大使に政府の眞意を充分に傳達し今後の交渉に於て我方の主張を貫徹せしめる事となつた

【東京國通】有田外相の秘策を受けて南京に急行する事となつた桑島東亞局長は南京で川越大使と會見週日重要協議を遂げ兩三日同地に滯在、使命を果し至急歸京して有田外相に情勢復命し交渉の進展に備へる豫定である

蔣氏の歸京を機に 對日策戰を協議

南京で國府軍事委員會

【南京二日發國通】確報に依れば、南京政府軍事委員會は近く來京する蔣介石氏を迎へて來る七日國防會議を南京に開催するに決し既に全國に夫々召集の指令が發せられたと、會議の眼目は軍事委員長蔣介石氏を首班に何應欽、馮玉祥、程潜の三氏の外全國各地の首腦者、參謀長等を網羅し、主として對日作戰が討議されるといふ、一方これに續いて十月十日の双十節には南京駐屯陸上部隊が各軍官學校生徒兒童團の士氣を鼓舞するため空軍をも加へた大閲兵式を擧行するが、日支緊迫に伴ひ支那側の對日デモは頓に活潑の度を加へて來た

（寫眞上から蔣介石氏、何應欽氏、馮玉祥氏）

″日本の使命たる 大陸政策を遂行せよ″

重光大使澤田總領事の入京談

重光新駐ソ大使、澤田ニューヨーク總領事は二日午後五時半關東局施政三十周年記念式出席の歸途にある張國務總理大臣、板垣參謀長以下日滿要人達と同車、張外交部大臣以下日滿官民多數出迎に賑々しく新京に入つた、大使は車中往訪の記者に語る

北支を視察して來たが北支那の我が出先の人達が協力一致着々我が方の政策遂行に當つてゐるのを見て力强く思つた、今度は關東軍ともよく聯絡し東部國境をも視察するが、これは

ソ聯 に行く前に一度現地を十分見て置き度い爲めであるが、また我が大陸政策の第一線にある人達に敬意を表し度いためである、國境紛爭處理委員會、國境劃定委員會の問題が其後どうなつてゐるか自分は知らない、いづれにしても未だ話のいとぐちがつきかゝつてゐるに過ぎない、滿洲里會議の外蒙代表がついたつて?さうか滿洲里會議が進展し、國境紛爭處理委員會同劃定委員會等の話が進むにつれ日滿ソ關係は漸次全面的に

好轉 して行くだらうさう望まなければならぬ、不可侵條約の締結などゝ言つても何しろソ聯側が極東にあのような大軍を配置してゐる現狀では中々さう簡單に考へられぬ、自分は赴任する前に北鮮漁業問題もあり、是非浦鹽を見て行き度いと思ふ、何れにせよ日本は今大した時機に直面してゐる、日本人は今こそ落着いて自信を以て日本の使命たる大陸政策の遂行に向つて邁進しなければならぬと思ふ

澤田總領事は語る

ニューヨークには反滿洲國的な空氣はありません、あちらにも一時は在米支那人及一部の米人の宣傳で反滿洲國的な空氣が煽られたことがありましたが、今では皆無ですそれかと云つて

未だ 滿洲國のこのすばらしい發展狀況も十分判つてゐません、北平に久し振りで行きましたが、相變らずいゝところです、私の行つた時には大阪の實業團の人達が來てゐましたが、あゝいふ具合で北支の經濟提携がだんだんと行はれて行くでせう

尚ほ大使は三日午前新京神社忠靈塔に參拜の後宮内府に伺候滿洲國皇帝陛下に拜謁の後張國務總理大臣、張外交部大臣を訪ひ、正午はヤマトホテルに於る張國務總理大臣の歡迎宴に臨み、午後二時半より軍司令部に植田軍司令官を訪ひ懇談、同午後四時より板垣參謀長と會見の筈、四日五日は東部國境視察、六日は一日靜養、七日新京發羅津京城經由東京に向ふ（寫眞は新京驛にて、向つて右より張外交部大臣、重光大使、澤田總領事）

中山兵曹射殺事件の 犯人死刑宣告

【上海二日發國通】抗日テロ事件頻發の後をうけて流言飛語亂れ飛び、無氣味な空氣の漂ふ中にあつて二日午後二時、第一特別法院に於て昨年十月九日憎むべき無頼の抗日鬼の手に斃れた中山兵曹の殺害犯人に對し左の如く判決言渡しがあつた

首魁 楊文道
下手人 葉海生
死刑に處す

尚ほ共犯と目された周社榮は無罪となつた

近藤司令官談

【上海二日發國通】中山兵曹射殺事件犯人斷罪に就き近藤陸戰隊司令官は二日午後三時卅分談話の形式で左の如く發表した

本日の判決に於て楊文道、葉海生共に死に刑處せられたが、これは余が最もよく確信して疑はざるところであつて故中山兵曹の靈も亦地下に冥すべく司令官として感慨新たなるものがある、然し乍ら余は最近頻發する事件を考へ我陸戰隊としては依然として自衛上必要なる處置をとらざるを得ざるを遺憾とす最後に本事件發生以來長日月に亘る工部局檢察當事者の絶大なる努力に對し深甚なる敬意を表す

米國アジア艦隊 旗艦上海到着

【上海二日發國通】列國軍艦は近日來續々上海に集中し各々居留民保護に當つて居るが米國亞細亞艦隊旗艦オーガスタは昨日秦皇島より來着ヴイに繫留された、米海軍側の消息に依れば修理を要する一隻を除き米國亞細亞艦隊所屬の全艦船が本月十六日までに上海に集結される

…葡三國が 内亂に干渉

佛ソ兩國と泥試合を演ぜん

…に上提されゝば、獨、伊、葡三國も對抗的に佛ソ兩國の政府軍支援を暴露し國際泥試合を演ずるのでは無いかと懸念されて居る

″三週間以内に 内亂終結″ 革命軍豪語す

【ブルゴス一日發國通】革命軍側ではマドリッドの陷落、延いてはカタロニア地方を除く全土に亘る内亂の終結は三週間以内にありと豪語して居る但しカタロニアは全く外國の感があるからその平定は急がぬ方針であるとなして居る

ス國會開催 首相重大宣告

【マドリッド一日發國通】スペイン國會は二ケ月振りで一日開會非常時對策に就き審議を遂げたが席上ガバリエル首相は内亂終了の曉にはプロレタリアート共和國を建設する旨宣告し滿場の拍手を浴びた

交渉の經過奏上に 首相けふ北海道へ

【東京國通】廣田首相は日支交渉の經過を奏上する爲め三日午後七時上野驛發北海道に赴く事になつた、四日午後七時四十分札幌着驛前越中屋旅館に宿泊後御都合を伺つた上天皇陛下に拜謁仰付られ日支外交々渉の經過並びに一般政務を奏上、六日觀兵式拜觀引續き賜饌に參列、同日夕刻又は七日朝札幌發歸京の途に就き途中東北地方を視察する豫定である

ソ聯人十八名 トレド戰線で銃殺

【リスボン一日發國通】セヴイリア放送局の放送に依ればトレド戰線に於てソヴイエト國籍者十八名が逮捕され即決銃殺に處せられたと言はれる

外蒙代表 二日滿洲里着

滿洲里會議出席の外蒙代表一行は二日國際列車で滿洲里に到着する旨入電あつたので滿洲國側代表は八六待避驛まで出迎へることゝなつた

″三國爲替協定には 參加の要なし″

大藏省當局の見解

【東京國通】フランス政府は佐藤駐佛大使を通して我當局に對し三國爲替協定支持を要請し來つたが、我大藏當局では左の見解で今直ちに右協定に積極的に參加の必要なしとの見解を持してゐる

今回の三國協定の主旨はフランの平價切下げに對して互に爲替相場の引下げ競爭の如きは自制し可及的に爲替の動揺を防止しやうと云ふのみで而かも英米とも將來に於る自國の通貨政策に就ては完全な自由を保有して居る様である、從つて斯る協定に參加すると云ふは何等意味がないと同時に圓は從來から獨自の立場に於て安定せしめて來たので此際如何なる形式にしろ外部から拘束される事は好ましくなく我爲替政策は何處迄も英米クロスの動きを基準として獨自の立場から安定を圖る方針である

今年の米は大豐作 一割二分增收

＝第一回收穫豫想高發表＝

【東京國通】昭和十一年米第一回豫想收穫高岩手外十二府縣の第一次分は一日農林省から一千七百卅三萬四千石と公表された右によれば前五ケ年平均實收穫高に比し一割二分强の大增收となつてゐる、而して全國的には時に悲觀されてゐる地方が無いのみならず主なる米作地方である北海道東北、北陸等はその後の作況は概して良好で、殊に宮城縣の如きは昭和八年の大豐作以上とさへ言はれてゐる等の事實に鑑み、一割二分程度の增收は今後の天候如何に拘らず今や全國的な平均率と見て差支へないもの〻樣だ、從つて前五ケ年平均實收穫高五千九百餘萬石に比し七百萬石以上の增收となり終發表に於ては全國の收穫豫想高は六千六七百萬石の豐作數字を見るものと期待されてゐる

張總理、板垣參謀長等 きのふ歸京

關東局施政三十周年記念祝典に列席した張國務總理、于、齊兩大臣板垣參謀長は二日午後五時二十分アジアで夫々歸京した

佛通貨法再修正案 兩院で可決さる

【パリ一日發國通】フランス下院は一日午後二時半開會、上院から廻附された通貨法再修正案に就き審議したが、新たに修正條項を附加して同案を可決した、次で上院は右修正條項に就き審議の結果切下による利得に賦課する税率に就き一部修正を加へ再び下院に廻附した、下院は右修正條項を再度審議の結果結局原案固持に決し左の如き原案を可決した

一、切下げによる利得に對しては五割の特別税を賦課し八割とせる上院の修正を否定する

一、特別税は九月廿一日より廿六日迄の現金取引に適用し九月廿六日から十月一日迄の取引に適用せんとする上院の修正案を拒否する

上院は深更に至つて遂に下院の原案を百五十五票對八十七票で可決通過し、法案は茲に成立を遂げ、ブルム内閣は漸く危機を切抜けた

日ソ漁業交渉 新協定 近く調印

【東京國通】日ソ漁業交渉はその後酒匂カズロフスキー兩代表間に於て順調に進捗して居り、九月廿八日にも兩代表の會見が行はれたが、近く調印の運びに至るものと見られるに至つた、而して新協定の内容中今日迄に決定せるものは支拂方法のルーブル換算率で、これは現行通り卅二錢五厘を踏襲する事となつてゐるその他の點は未だ確定的な結論に達してゐないが、問題の期限は略々七八年見當になるのではないかと推測され、競賣方法の禁止は困難な問題故現狀に近い狀態で繼續さるべく、これに對し魚族保護問題に關してはソ聯側の河川漁獲取締りを現在より幾分嚴格にする事が出來るであらうと見られ、要するに我方の正當なる要求は可成り實現するものと期待されてゐる

人事往來

▲原田中佐（關東軍參謀）二日午後一時十分大連へ
▲河本理事 同あじあで來京
▲八木沼涼男氏（鐵路局）同 中央ホテル
▲高木正男氏（會社員）同
▲龜上謙治氏（商業）同
▲木藤陽次氏（大倉土木）同
▲將田幸男氏（鐘紡）同
▲三宅久雄氏（銀行員）同
▲菊地良一氏（代議士）同
▲青山勝藏氏 同吉林へ
▲谷山隆雄氏 同大連へ
▲岡處一氏 同
▲管野義雄氏 同大石橋へ
▲南薫氏 同吉林へ
▲定末芳雄氏 同大連へ

航空往來

▲酒本茂男氏（滿洲國官吏）二日午前チチハルへ
▲花田信一氏（同）同
▲荒木朝吾氏（同）
▲中川路實氏（同）
▲伊藤岩雄氏（航空社員）同ハルビンへ
▲千々岩藤夫氏（教諭）同吉林へ
▲村田定夫氏（同）同
▲保田廣雄氏（同）同
▲山本定氏（土木業）同午後ハルビンより
▲波多直行氏（同）

閑話

明月の夜或る人が友人の家を訪れその家の庭先から見た月がとてもよかつたのでお宅の庭から見る月は格別ですねといつたところがその家の主は″いえどういたしまして誠につまらぬ月で″と言つたそうである▲謙遜といふのか何といふのか世の中にはこれに類したことが多くあるやうだ▲ある外國人の撒水夫が命ぜられた仕事だからとて雨の降る日にしやあ〱と水を撒いてゐたといふ話もある▲これとそれとは其の話の内容は違ふが物事を應用する力のない點は同じである▲學校の秀才或は天才といはれる優等生であつても教科書の内容だけを鵜呑みにして試驗の答案紙にそのまゝ書き連ねるだけでは何にもならない▲先づ目から耳から頭に入つたものを充分かみこなして這入つた量の何十倍何百倍にも應用することによつて▲始めて優等生と言はれ天才と言はれるだけの資格があるのであると或る人が話したことがあるが味のある言葉である

社説　北支への注視　經濟的合作の進展を續つて

一

支那に向つての日本の要求條項については、全面的に更に强硬にその容認を要求することになつたと報ぜられてゐる。特に北支五省特殊地域要求の條項に關しては、支那側がこれを承認しない場合には日本は自主的見解に基づいて目的の貫徹に邁進する決意であるといふ。ところで、南京に於ける交渉が暗礁な狀態に置かれてゐるときに、北支に於ける日支の經濟合作が一歩前進を報ぜられてゐるのは示唆的である。冀察政權の側に於いて、日支經濟合作に關して重要な議を練つてゐるといひ、一報道はそれが鐵道建設、新交通路開拓、築港、鑛山開發、棉花合作等を內容とするものであると傳へてゐる。

二

南京の側に局面を好轉せしめる誠意なく、依然反日不祥事件の發生を未然に抑止し得ないならば、南京政府は全く統制力を有しないものと斷定さるべく、支那を代表すべき中央政府たる位置よりは當然に顛落する。かくて日本は在支既得權益を自主的に擁護しつゝ、外交的並びに經濟的關係を進展せしめるには、現地各地方に於いて實力あり、統制力あり、友好關係を期待し得る政權を交渉相手として特別折衝を行はざるを得ないこととなる道理である。今や中南支に於ける抗日が、却つて北支の日支接近を促進しつゝあると見られることがすでにこの事を實證してゐる。

三

最近北支を見た觀察者は、北平や天津の空氣が意外に平穩であつたのに驚いたくらゐである、と書いてゐる。尤もそれは表面の現象であつて、一歩民衆の內面生活にはいつて見ると、對日反感の暗流が物凄いまでの渦卷をつくつて流れてゐるといふことを附け加へてゐる。つまり直接的抗日でなく、對內の團結に力を集中して居り、理性的な戰術的な抑制がそこにあるといふのである。このやうな實狀を正しく解した上での方策でなければ、支那民衆を援助しその秩序を再建するといふ理想は空語たらざるを得ないであらう。今日の支那の青少年に善隣の好感地を掃ひ、憎惡仇讎の觀念のみが燃え上つてゐるとして、そのやうな感情を生ぜしめた理由を排日敎育や國民黨部の訓練に歸せしめるだけでは機械的な見方であるとせねばならぬ。支那問題を單なる支那だけの問題としてでなく、世界の大局より世界の問題として觀ることが忘れられてはならない。支那に對する積極的對策はこの發足點から打ち建てられねばならない。明朗なる北支の建設に期待すべきものが多いだけに切實な注視が集中する。

朝鮮總督府の方針　"內鮮"より"滿鮮"へ
オブザーバーとして出席の武內總務科長歸來談

朝鮮總督府に於て開催された全鮮道府知事會議に出席した民政部地方司總務科長武內哲夫氏は五日間に亘る會議の狀態に就き左の如く語つたが、朝鮮內行政當事者の觀念が「內鮮」より「滿鮮」へと變化しつゝある事は特に注目に値する

談　今回の朝鮮道府知事會議にオブザーバーとして出席して最も感じた事は爲政者が滿洲の狀勢に多大の關心を有してゐる事で、在滿朝鮮人移住民に對する總督府の監督も遠からず滿洲國に移讓する樣な計畫もあり、今後の滿鮮關係は鐵道の一元化と相俟つて益々强化される傾向にある

健全財政から「積極財政へ」
滿洲國の財政方針轉換せん

明年度滿洲國歲出入豫算編成に就ては十月中旬迄に

各部 の要求が出揃ふのを待つて主計處に於て查定を始める筈であるが、滿洲國財政は建國以來所謂健全財政方針を踏襲し、「入るを計つて出づるを制す」式の消極的方針を以て歲出入のバランスを合せて來たが、國內の治安確立し產業開發の必要が力說されてゐる今日、徒らに消極的方針を固持する事は寧ろ國運の發展を阻止するものがあるので明年度豫算より斷然積極的方針に轉換し以て產業の開發、助成に向ふ事に決定、滿洲國財政の劃期的飛躍が期待されるに至つた而して右積極方針は目下滿洲國に於て銳意立案中の產業五ヶ年計畫を完成するために公債政策を採り、內外債の發行によつて建設的資金を獲得せんとするものであるが、茲に注目すべき事は右積極主義は放漫財政とは自から異なり一般行政費に關しては從來以上に緊縮方針を以て進み、公債發行に就ても將來借替方針によらず財源を確保して償還に當てる筈である、從つて右方針は歲入の不足を

補塡 する赤字公債ではなく積極的建設公債とも稱すべきものであり公債發行額は大體五ヶ年間に外債（日本）一億五千萬圓、國內債一億五千萬圓、合計三億圓程度とみられるが、同豫算方針の大綱は

一、一般行政費　從來の健全方針を堅持するのみならず一層緊縮を行ひ極力自然膨脹を避ける

一、土木、治水等の公共的事業費　自然增收と公債發行によつて之を行ふが企業投資の如く直接收益を擧げ得ない、主として內國債を以て充當治水、利水によつて農業開發に資す以外道路建設、水力發電等により一般民衆の福祉增進を期す

一、產業開發　滿洲國產業開發は主として各種の會社設立によつて進められて來たが依然として企業投資の形式を採り、外債發行により資金を獲得、產業開發上必要なる企業に對しては政府より積極的に投資し之が發展を圖る、又助成、奬勵金及び產業諸施設も政府投資と同樣積極的に行ふ

而して右公債發行には確然たる償還計畫を樹立するために新たに財源を求める一方官業收入の增加を圖るが、この際增稅は行はず滿鐵特殊會社等の免稅整理及び新稅を設定する方針で、稅制の

詮衡 をはかるため農民課稅の過重をさけ一般勞動者、俸給生活者を目標とする特別所得稅の新設等が目錄まれて居る

九月中銀行異動

【東京國通】大藏省發表＝九月中の銀行異動左の如し

一、合同なし
二、業務廢止　國分銀行、灘谷銀行、郡山合同銀行
三、業務停止　淡路銀行

尙は本年九月末現在普通、貯蓄銀行數左の如し

	九月末現在	前年末比較
普通銀行	四四四	二二減
貯蓄銀行	七五	四減
計	五一九	二六減

關東局施政概觀（一）

關東州と附屬地

關東州租借地と南滿洲鐵道附屬地の面積は三千七百六十平方粁七七一に過ぎざるも、滿洲に於る近代文化の淵叢、經濟活動の心臟部であるのみならず、歐亞國際交通路の咽喉を扼し、日滿支物資集散の中心地であり、諸民族協和安住の樂土である

關東局施政三十年

皇國が關東州と滿鐵附屬地とをその治下に收むるに至りたるは實に國家の興廢を賭して戰つた結果である

其の目的は固より八紘一宇四海兄弟の建國の精神を發揚し東洋平和を維持するに在る

明治三十九年關東都督府設置以來、我が施政三十年間東洋の平和と諸民族の福利を念とし治安の維持に、文化の普及に、產業の發展に、撓まざる努力を續け來つたのである、其の結果何十萬と號されたさしもの匪賊も影を潛め人口は百六十二萬餘人となり始政當初の四倍强の增加であり往年の荒凉たりし曠野は概ね耕されて其の面積十九萬九百餘陌に及び五穀豐かに穰り、岩石露出した禿山は綠樹に覆はれ見る影もなき一漁村は上海の壘を摩する大貿易港大連と化し世界に誇る特急アジアは颯爽として大陸を縱走して、今や東亞大陸唯一の文化地帶として文明の惠澤都鄙に遍く僻村の農民も擊攘鼓腹して皇威の盛大を讃へる平和鄕となつたのである

曩に滿洲帝國創建せられ日滿一德一心を旨として王道樂土の建設を理想とするに至つたので、關東局はその經驗と技能と人員を傾けて同帝國の建設事業に協力しつゝあるのである

▲關東局の主管事務

一、關東州廳の監督其の關東州に於る政務の管理
一、南滿洲鐵道附屬地の行政の管理
一、南滿洲鐵道株式會社及び滿洲電信電話株式會社の業務の監督

▲關東局に關する滿洲國駐劄特命全權大使の權限

一、關東局の事務統理（內閣總理大臣の監督を受く、涉外事務に關するものに就ては外務大臣の監督を受く）
二、職權又は特別の委任に依る關東局令の發布
三、陸海軍司令官に對する兵力使用の請求（管內の安寧秩序を保持する爲め必要ある時）

▲關東局並所屬官署職員調（昭和十一年四月一日現在）

勅任官	一一
奏任官並同待遇者	一六三
判任官並同待遇者	二〇四〇
囑託	一四三
雇員	二〇一五
巡查	三〇三二
巡補	一〇七四
傭人	二九七八
合計	一一四五六

日佛連絡飛行に　又一機現はる
ロツシー少佐の計畫發表

【東京國通】曩にフランスの若き飛行家アンドレ・ジャピー氏の訪日飛行が發表され我が航空界に大きな

話題 を投げかけてゐる折柄、又もやフランス陸軍航空少佐ロッシー氏がパリー東京間を一着陸で翔破しやうと言ふ大計畫が一日駐日フランス大使館附航空武官マックス・ブルイエール氏によつて發表され秋の我が航空界を益々賑はせる事となつた、ロッシー氏は現代フランスの生んだ世界有數の飛行家として知られ歐洲大戰に參加して勇名を馳せ今年三十九才の働き盛り、一九三三年八月にはコドス氏と共にニューヨーク、シリヤ間九一〇四キロを一氣に翔破直線距離の世界記錄を樹立した事があり今回の大飛行は發動機二二〇〇馬力二基、低翼單葉最大速力三六九キロ、航續距離五、一〇〇キロと言ふ優秀機、コードロン・チフオーン機を使用してパリよりボムベイに飛び同地より東京迄一氣に翔破する計畫であるが、ジャピー氏も亦殆んど

同樣 の南方コースを狙つて急速度飛行を試みる事とて期せずしてフランスの兩雄が秋の日本を目指して空の覇を爭ふ事になつた譯である

半島の社會事業施設を一層强化
大野總監の根本的建直し方針

【京城支局】總督府では宇垣前總督の方針に依り朝鮮の實情に即應した社會事業方策を樹てるべく計畫した社會施設調查委員會が、明年度豫算查定に際しオミットされ之は新首腦部の方針の現はれとして注目期待されてゐるが、社會事業に對し識見經驗豐富なる大野政務總監は一般の豫想通り社會事業遂行に根本的建直しを行ひ、第一歩から新しく踏み出すべく深く決意するに至り之が一階梯として天災地變等に對する罹災援助の制度不備なるため之に對應する適切なる制度を確立し更に社會事業の基礎を確立し兒童、婦人保護、職業紹介、行路病人保護救濟に補助制度等を創始することに重點を置き全般的に互り劃期的施設を試みることになつてゐるが、今明年中は之等の調查に當り、十三年度から數ヶ年繼續的に尠くとも二、三千萬圓の巨費を投じ全面的施設の整備擴充を斷行することになるものと見られ尙右對策樹立に際しては一時中止された前記の調查委員會の如き機關を基礎的調查完了の上大規模の陣容で設立萬全を期することになるものと觀測されてゐる

賣上稅、消費稅の增徵に一時期尙早說

【京城支局】內地では百貨店始め年額賣上げ二萬圓を超ゆる商業經營者に千分の三乃至千分の五の賦課率で賣上稅を創設し又消費稅の增徵を行ふことになつたが、朝鮮では商店界の現狀からして賣上稅を創設することは時期尙早であり又消費稅の增徵も內地より比較的劣勢にある半島民衆の經濟生活狀況から時宜に適し得ないもので然も萬一增徵の曉は深刻なる脅威を與へ却つて生活を萎微せしめる弊害は當然起り得るものとの見解から朝鮮は取止めることになる筈である

公債、低金利政策　更に强化徹底

【東京國通】政府が今回斷行せんとする稅制整理案に關聯して增稅が公債政策並に低金利政策に及ぼす影響に就ては各方面から注目の的となり、馬場藏相も稅制案立案に當りこの點の調整に最も苦心を拂つた模樣だが、藏相は一日西下の車中に於て增稅の公債政策に對する影響に就ては現在の權限の許す範圍內に於て經濟的或は行政的手段を講じて公債の消化を圖り、又低金利政策に就ては一般金利の實質的低下或は社債發行條件の低下等に對處して郵便貯金の値下げも考慮せねばならぬ旨を言明し、今直ちに公債の强制引受け等の强硬手段は講じないとしても將來益々公債政策のための金融統制の强化並に低金利政策の徹底を暗示した事は當然豫期されたところとは云へ藏相今後の動向を示唆したものとして頗る注目される

英、ソ代表　新海軍條約案の最後的協議

【ロンドン一日發國通】ソ聯大使館參事官カハン氏、海軍武官チクンスキー中佐は一日午後クレーギー外務次官補、フイリツプス大佐を訪問、新海軍協定案に就き協議を遂げた協定は七月三十日既に成立して居るが、兩國代表は一日愈よ協定案文の最後的仕上げに着手したと見られる

商況欄（十月二日後場）

海外經濟電報

●上海標金　前引　一五九、一〇

●上海爲替

日本向	第一回買賣	一〇〇二六、／一二五三七五
	第二回買賣	――
倫敦向	第一回買賣	一志二片一六分五／三二分二
	第二回買賣	――
紐育向	第一回買賣	二九弗一六分九／二分一
	第二回買賣	――

株式相場

▲大連株式（短期）

品名	寄	引
五品	一五、七〇	一五、七〇
豆新	一〇、四〇	一〇、五〇
錢鈔	一七、一〇	一七、一〇
東新	一三七、五〇	一三七、五〇
滿鐵	六二、四〇	六二、四〇
二新	三九、五〇	三九、五〇
日遼	八三、一〇	八三、四〇
鐘新	一七三、四〇	一七三、八〇

▲奉天株式（短期）

品名	寄	引
滿取	一三七、五〇	一三七、六〇
東新	七一、八〇	―
大產新	八二、三〇	八二、四〇
日品新	一七三、八〇	―
鐘新	一五、八〇	―
五甲新	一〇、三〇	―
豆拓	三九、七〇	―
二興	五三、八〇	―
電毛	―	―
東先	二六、六〇	―
滿ロ	一九、三〇	―
優醫	一〇、八〇	―
	六九、〇〇	―

各地商品市況

▲橫濱生糸

	寄付	大引
現物	七四五、〇〇	―
當限	七三九、〇〇	―
先限	七三六、〇〇	―

手形交換高（二日）

金票　[illegible]
鈔票　[illegible]
國幣　[illegible]

鮮魚小賣相場（二日）百匁＝付

品名	最高	最低
活鯛	一五〇	九〇
氷鯛	四六	…
中タイ	七二	六一
連子鯛	…	…
チヌ鯛	…	…
アマ鯛	…	…
イセエビ	一四四	一二〇
車エビ	…	…
ブリ	二五	二四
ヒラス	四三	三八
マナカツオ	五五	五四
黑鯛	…	…
マクロ	…	…
カツオ	…	…
サハラ	二八	一八
赤ムツ	…	…
イワシ	…	…
ニベ	…	…
サバ	一九	一八
アバチ	二二	一八
メバル	二八	二二
ヒラメ	…	…
コチ	三四	一八
コノシロ	一七	一二
ホトボー	三一	二八
ボラ	…	…
キス	…	…
サヨリ	…	…
タコ	…	…
カニ	…	…
小エビ	…	…
タイラ	…	…
甲イカ	二二	…
アワビ	八四	七八
クロナマコ	…	…
貝柱	…	…
シジミ	八	…
ハマグリ	…	…
カキ	…	…
ウナギ	…	…
ニナ同	三二	三〇
ブベリ	五〇	…
サハラ	五五	六三

新京區公示第二十一號
新京中間區公示第八號
范家屯區公示第十號

會社職制改正に伴ひ滿鐵附屬地に於ける地方事務に關し總裁に於て左の通改正せられたり右公示す

昭和十一年九月二十九日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　武田胤雄

記

社告第三百一號

劉房子（劉房子を含ます）以北の會社附屬地に於ける地方事務は昭和十一年十月一日より新京事務局地方課長をして之を取扱はしめ地方事務所に關する諸規則を準用す

昭和十一年九月二十六日
總裁　松岡洋右

外人は斯く觀る
「日本、滿洲及露國」（四）
F・ジョンストン記

露國側よりの之に對する抗議即ち「態度を改變せざれば重大なる結果を招來するやも知れず」と謂ふ注意は單なる脅かしとして支那側は對手にしなかつた、突如として露軍は國境を越えて滿洲内に闖入した、之を邀へ討つた支那軍は數に於ては壓倒的に優勢であつたに拘はらず、優勢なのは數丈で、忽にして敗走して先を爭つて南下退軍した、其の途上貨銀無支給の飢えた無節制無統制の軍がやり得る凡ゆる掠奪暴行を敢てして沿道の同胞を襲ひ歩き四散分離した當時露は何處迄南下するだらうかと謂ふのが問題視された

支那軍は斯く無抵抗同樣であるし、露軍は無人の境を行くが如く軈て奉天迄も陷れ、現世紀始頃樹立した一大勢力を再樹立し得べき絶好の機會であつたかも知れないが、其處には日本と謂ふ一大障害物が横たはつて居た

◇　◇

故に一大決意を以て支那の不信行爲を徹底的に膺懲する野望を有して居た露國も結局最北端の地に威赫的軍事行動を取る丈で滿足せねばならなかつた、該侵略行爲は支那をして國際的約束の違反行爲であるとして露國に對して一大抗議を提出せしむるに至つた、尤も當時露國は國際聯盟には加入して居なかつたが併しケロッグ・ブリアン條約の署名國であつたので、支那は之を已が戰敗の不體裁を隱蔽する爲に手際よく利用して曰く「露國支那共に該條約の署名國であるのに露國は條約を無視して軍事行動を敢てしたが、支那は條約を遵守して戰を避けるべく前線から軍を撤退したのである」と

◇　◇

露軍の滿洲侵入に對して日本は注視を怠らなかつた、日本は露國が既得權益の擁護を主張する爲に、外交手段の全然無駄なるを知り、已むなく武力に訴へねばならないのに寧ろ同情した、併し同時に日本は露國が再び昔の野望を復活せしめることを怖れるのも當然であつた、明かに露國は一九〇五年以來未だ保持せる權益に勿論之を固執すべき狀勢を示し且つ日本に依り奪はれた權益をも奪回する機會を密かに窺つて居ないとも誰か斷言出來よう假令右の懸念が根據のないものであるとしても＝即ち露國が滿洲の武力征服は斷念したとしても＝尚日本にとつては夫れ以上に面倒な問題が横たはつて居るのである、夫れは取りも直さず日本の最も嫌忌する共產主義宣傳の絕ゑざる而して冷酷なる壓迫である

滿洲は日本の屢々言明せる日本の「生命線」である、此の「生命線」を守るべく日本は嘗て露國と干戈を交へたし、且つ必要あれば第二、或は第三の戰爭をも敢行し得べき準備は怠らなかつたであらう

本來の使命へ邁進……
滿系普銀大轉回
新規企業の促進期待さる

從來爲替取引を主眼として來た滿系普通銀行の業務方針が貸付本位に一八〇度の急轉回を見せ今後の滿洲經濟界に金融的援助の拍車が加へられつゝあると云ふ面白い現象がある、即ち從來滿系諸銀行はその大小を問はず一律一樣に爲替差金を唯一の目標として活躍し、滿人經濟界の金融が逼迫しようが何のその、國幣金票大洋の思惑賣買に依つて相當の業績を擧げてゐたが、金票對國幣のパー出現及爲替管理法に依る對支銀賣買の取締で思惑が全く不可能となり康德元年六月末の全國普通銀行總數百二十九行は本年七月現在に六十二行と云ふ急激な減少を見せてゐる、この結果在滿普通銀行は銀行本來の使命たる眞面目なる企業に投資貸付をなして業態を立直すべく努力しその資金援助に關し中銀本行に諒解を求めつゝあり中銀に於ても之に積極的援助を與へ金融關係の圓滑を計る事となつたので今後の滿人方面の資金は潤澤となり新規企業の促進を見るべきことが期待されてゐる

鮮滿一體化の促進
軌道に乘る
總督府が提携具体策考究

【京城支局】始政以來過去二十六年間の長きに互り歷代總督に依り内鮮融和結合が强調されて來たが輓近の内鮮關係は殆んど名實共に同一體となり南總督は「今更内鮮融和を口にするは水臭き感がある」と語つてゐる程で今後は更に一轉して鮮滿一體化の必要に迫られ南總督も着任日尚淺きに拘らず東亞必至狀勢にある鮮滿依存の關係を深化擴大せしめるべく全力を傾注しつゝあるが之が所期の目的を達成せしめるには先づ相互の認識を新に、且つ深くし双方の爲政者を始め樞機の者を事情に通曉せしむることにありとの發意に基き、今後滿洲國からの朝鮮視察を歡迎慫慂すると共に朝鮮からも滿洲國に赴かせ王道主義の實體秩序の整正開發の企畫國力の培養等諸般に互り認識を深めさせることになり該方策の第一着手として總督府出入記者團を二班に分ち順次渡滿せしめ次いで局課長始め幹部を滿洲視察に上らせることになつた、斯くて鮮滿緊密提携化に伴ふ大陸政策に早くも軌道に乘り目的の彼岸を目指し、着々步を進めてゐる譯で今後の鮮滿一致の政策推移は、段と注目されてゐる

鐵道總局開局式

鐵道總局開局式は一日午前十時より新廳舍玄關廣場に於て軍司令官代理今村參謀副長、新鐵道總局長大村總裁、宇佐美、佐藤兩次長以下局員二千余名出席の下に盛大に擧行された（寫眞は大村總裁の訓示）

往年の豪華を偲ぶ
コザック祭

【哈爾濱國通】帝政ロシア武士道華かなりし頃アタマンの命令一下神出鬼沒その勇猛果敢な戰鬪振りと、馬上の妙技に幾多の武勳を大陸に輝かしたコザック騎兵隊の名に今も尙ほ聞く人をして感激と興奮の渦にまき込む、此のコザック騎兵隊の往年の勇士何れも五十の坂を越した老人であるが、今哈爾濱に四十名ばかり在住してゐるので當地ザバイカル・コザック團では一日、往年の豪華をしのんでコザック祭りを催し、哈爾濱國立賽馬場に於て高等馬術大會を擧行、ザツイルガブスキー將軍指揮の下に卅名の騎手が約三時間に亘つて馬上左右跳躍、地上帽子拾ひ、彈丸がくれ、婦人奪取と息もつかせずに昔忘れぬ妙技を演じて數千の觀衆を全く魅了し去つた、此のコザック祭は今後每年一回開催の筈でハルビンの新しい名物としてさびしい彼等コザックの唯一の誇りとならう（寫眞は馬上姿のコザック老勇士達）

上海豆粕日本進出は
滿洲物品薄に依る一時的の現象

【大連國通】大豆稀有の品がすれに依り油坊の操業杜絕し豆粕も產地在荷尠く内地相場は百斤六圓近き高値を見せ旁々硫安市價に制肘されて需要振はず日本向大連港輸出數量は左の如く前年に比し激減を示してゐる（單位千キロトン）—滿洲重要產組合調べ—

	本年	前年同期
八月中	二	二三
自十年十月至十一年八月累計	五五一	六六一

これに歐洲、支那、米國、南洋向等を加算すれば累計に於て前年度七二三〇〇〇キロトンに對し本年度は五九五〇〇〇キロトンであつて實に一二八〇〇〇キロトン（一八％弱）の減少となり、全面的に豆粕の需給狀態は後退歩調をとつて居ること明らかであるが豆粕の肥料としての用途は次第に狹められつゝあるにしても本年のこの不振は特殊事情に依るもの、とはいへ滿洲油坊工業界の深憂ならざるを得ない然るに内地に於ては秋肥豆粕が問屋筋の高値惚れの賣込み約三十萬枚がハタ賣りとなつて過渡期に臨み崩れ續出したが、内地取引標準品たる大連其他滿洲物は極度に拂底せるため手當に困じ遂に上海、漢口、浦鹽、印度產の豆粕を以て代替せしめて急場を凌ぐ奇現象を呈するに至つた

×

右につき最近到地著の神戸某肥料商の談、當地業者の意見を綜合するに上海、漢口物は滿洲物に比べ稍小型で斤量は一枚四十六斤半であるが、滿鐵混保係品と同樣一枚四十六斤建として扱ひ品質は上海、漢口物が優れてゐるとの報もあるが、事實は右兩地物は從前は滿洲物より劣つてゐたが今回輸入せられたものは概して滿洲物と同等程度のものであると上海、漢口地方油坊は南支の生產高約六百萬キロトン見當と呼ばれる豐富な大豆を原料として操業し大なる能力を有してゐるが、製品粕油は總て地場消費に充てられ尚ほ且つ滿洲よりの原料製品の輸入を以て不足分の補ひをつけてゐる現狀に在るが、偶々同地方では新穀が出廻り始め操業活潑となり相當のストックがあつたところへ日本から高値で買ひ手が現はれた爲め一時に大量の約定が行はれたもので同地方產品が日本に輸出されたのは歐洲大戰當時この方十餘年來のことである因に上海、漢口物と大連物との値開きは百斤二三十錢見當大連物が上値に在り、この二三十錢は略々大連内地各港間豆粕運賃に相當して居るわけである

×

而して上海よりの日本向豆粕は（漢口物は上海より積出す爲すべて上海物として取扱はれた）八月十七日、廿一日の各千枚、値段は橫濱渡し百斤五圓四十五錢の最低を手初めに最高五圓六十二錢、アト五十五錢にて二十五萬枚の商談調ひ更に二、三萬枚の賣物が出て居る積出期間は九月末迄で、その中一部神戸又は名古屋に積替へらるゝ模樣である（積出濟の數量は二十萬枚の見込）ウラジオ物の對日輸出は四千キロトンに上るとも傳へられるが凡そ一千五百キロトン程度であらうと言はれる、又上海物の臺灣への輸出は七、八千枚を出でない見込みである

×

以上の如く上海物日本輸出は可成り大量に上つてゐるが、この結果を見たのは一に大連物の品不足に原因するのであるから今後滿洲新大豆の出廻りを見、油房が操業を開始しストック增加するに至れば上海物の對日輸出は終熄するは明かで、内地の煎れも一段落し既に原料大豆、製品とも低落して居る昨今の大連相場より見で上海物の進出の餘地は全く見出せない有樣大天連當業者は前途を樂觀してゐる

附屬地繁榮の
維持に就て（上）
▽……田中卓二

新興首都大新京を鳥瞰すれば鐵道附屬地は其の一隅を占めて居るに過ぎないのであるが之を實質上から觀察すれば附屬地は新都の母體でもあり源泉でもある、即ち都市建設の計畫も又商業繁榮の進程も皆此の附屬地から湧出されたのである、恰も生殖細胞が分裂して生物の個體を成形するが如く溪間の淸泉が發して大河となる樣なものでこれは歷史上已むを得ない成り行きであつて且爭ふ余地の無い事實であるされば此の附屬地に在住する吾人は假令ひ先住者と謂ふ覺認を放棄しても此の母體の健全なる繁盛源泉の涸渇せざる保護に關しては附屬地地頭たる滿鐵と共に努力貢獻せねばならぬ任務を有して居る。惟ふに一地の繁榮を維持向上せしめるに就ては一種の有機機能が必要である、即ち部分の對立を自然に放任して置いては建設都市の意義を沒却するであらう、一都市内の各部分は相照歷史相連絡することが重要視されねばならぬ

長春時代の附屬地に在ては宰町小學校、公學校、病院の如き比較的廣大な〻積を要する公共建築物が並列して建設されてあつても市街體系の上に毫も懸念を要しなかつたのであるが新京時代となつてはダイヤ街出現したる爲頭道溝の一小流が入船町方面とダイヤ街との連絡を阻害し而して入船町以北の地域は前記に公共建物の並列に依て舊長春を二分し結局全附屬地の商店區域を三分する形態となつたのである、然るに幸ひに滿鐵當事者たる武田地方事務所長及び鯉沼地方係長の明敏なる理解と確乎たる英斷に依り此の小流を埋立地とし地下を暗渠とし地上を宅地と爲し以てダイヤ街と入船町との連絡を整頓することとなつたので市民の腦みの一部を一掃し得たのであるこれは實に機宜に適した措置であつて大に兩氏に感謝せねばならぬ、吾人は斯の如き滿鐵當事者の理解と英斷とが今後も事每に濺發し附屬地の爲住民の爲善處されんことを熱望せざるを得ないのである、是に於て殘る問題は兩學校及び病院の一列が附屬地商店街を二分し居る此畸形を如何にすべきやに在る、率直に謂へば公學校と病院とを他に移轉して之れを商店街に分讓することに歸するのである

家庭

秋も漸く本格的

▽……昔なつかし！傳はる行事の由來……△

十月の聲を聞くと秋も漸く本格的になり太陽も青空も夏とは變つて澄明な氣に滿ち溢れてくる。行樂にまた味覺に絶好の季節であり燈下親しむ讀書シーズンでもある。昔から行はれたこの月の行事を三田村魚老に聞いてみた

十月の暦

衣更　江戸時代は二月と十月とかの月と法律できめられてあつたものです。こんな規則をきめたのは恐らく六代將軍家信の頃ではないかと思ひますいまでもこの習しが守られてゐるのが巡査と軍隊の制服でどんなに暑からうが寒からうか十月になれば多物を著ます江戸時代の言葉に「土用布子に寒かたびら」とこの形式主義を諷した言葉もあります。

達磨忌　五日は達磨忌ですが、これは禪寺で達磨の木像や掛物を出して抹茶をあげたり、供物を供へたりするものであるが、昔も今も民家では行はず寺だけで行ふので一般的ではありません。達磨は愛嬌があつて誰にも知られてゐて子供の玩具にまでなつてゐる存在でしかも禪宗五派の開祖でありながら、誰もこれに願かけをしたり、參詣したりするものがないのは不思議なことです。

御會式　萬燈といへばいままでは十二日の池上本門寺に限られてゐるやうに思はれてゐますが、江戸時代は御會式開帳の度毎に萬燈が出ました恐らくこれは享保頃から始つたものでせうがそれより以前元文年間までは祭のときに萬燈が出て、その華を競つたものでした。その競走の結果幅五間、八間と云ふ大きなものが出て來て交通の防害になつたので禁止されてしまひました。それから後は幾分型を小さくして御會式などのときに限つて出るやうになり現在では日蓮宗の御會式だけに殘つてゐるわけなのです。

銃獵解禁　十五日が銃獵解禁に決まつたのは比較的最近のことですが、それにつけても思ひ出すのは明治初年頃までは東京にて鶴が舞つてゐたことです。江戸時代の錦繪に鶴がとんでゐる趣向がみられますが、あれは事實でありましたが、昔は將軍が手づから鶴を獲つて京都へ獻上したもので、やたらに捕獲することはできませんでした。その頃は鶴の餌を蒔く場所もきまつてゐて早稻田の鶴卷町な

どはその名殘をとゞめてゐるのです。

明治時代になつて諸國からいろ／＼な人が上京し、そんな風習を知らず亂獲したので鶴か驚いて逃げてしまひました。その後になつて保護鳥ときめられたのですが、まことに殘念なことです。

べつたら市　十九日のべつたら市はくされ市ともいはれますが、これは大店の番頭などを相手にはじめられたものでせう。新しい大根を早漬にして賣り出すだけで、別に何も趣味があるわけではありません。後になつてあの淺漬を繩でブラさげて歩き、それで汚されると幸せになるといつて、態とくつけて歩いたものですが、別に深い根據はありません。

夷子講　夷子講は廿日にやりますが、これは元來上方店ではじまつたので、上方から江戸に下つて商用を終へ決算が濟んだとき、ゑびす、大黑をまつつてお祝ひしたのがその起源です。後になつて江戸に支配人を置くやうになつてからも決算を濟ますと、お祝をやり、これが行事となつたものですが、大きな店では休業して御馳走を出しました。

お宮參り　七五三を祝つて産土樣へ參詣したものが寛政前後から大阪町人の風が移入されだん／＼ぜいたくになつてきました。町人達が自分の裕福を誇示するために、まだ滿足に歩けないやうな子供にぜいたくな着物を幾つもこしらへ、それにお出入りの鳶の者や駕籠や、乳母、女中小僧などがついて大勢で親戚廻りをしたもので、文化文政頃はその頂點に達しました。元來は飴をお土産に持つてゆきそのお返しに犬張子をもらつて歸つたのだが、次第にその贈答がぜい澤になり五百兩、千兩の代金が使はれたさうです。

引越の時季

家探しには是丈の注意が必要

◆…日當りがよく、空氣の流通のよい家を選ぶことです。東南のあいた家なら、充分日光が射し込み、通氣がよくて夏は涼しく、多は暖かに、從つて住み心地はよく、衞生上に至極よろしいわけでありまず。濕氣がひどいと、造作は固より、家具や器物、書籍、食品、衣類などが損み易い上に、健康にも大害があります

◆…間取のよくできた家、部屋の配置、便所の位置がよく台所の設備、廣さが適當で、押入れの數が家の廣さに相當してゐなければなりません。三疊間二つが細長くつゞいた家、四疊半が三間ある家は何か不界議があると俗間で言はれてゐますが、そんな間取りの家はさうあるものではなく恐らく、利用しにくゝ、住みにくいところから、かく言はれたものでありませう。

◆…廣さの格好な家　家族と生活に相應した廣さの家を選ぶことです。ひどく手狹でもいけませんし、小人數が廣い家に住むことは、不經濟なばかりでなく、家政上にも不便と無駄があり、用心の上からもよくありません。

◆…造作のよい家　造作そのものの良否と共に、疇請相當のものが用ひてあるかを注意せねばなりません。家は新しいが、疊、建具の古いものを用ひたのなども、いゝものではなく、襖より障子の多いのも考へものです。障子の張替へは、普通借手の負擔だからです。戸締りも完全であり、襖や障子のたてつけもよくなければなりません。極く古い家だとか、柱がゆがんでゐたり、廊下の敷居が下つて、雨戸が外から外せるやうな不用心のこともあります。

◆…近所と調和した家　家そのものはよくできてゐても、周圍と調和しない、近所の家とあまりかけはなれたのはよくありません。つまり生活程度のなるべく接近したところを選ぶことが大切で、台所や井戸端の向き合つたのも困りものですし、他所のお家のおしめを毎日のやうに庭先に眺めてゐねばならぬやうでも困りませう。三軒長屋の眞中の家は、よくないとされてゐます。兩方へ氣を兼ねゝばならず、また、うるさかつたり風通しが惡かつたりするためでせうが、これは長屋の場合のみとは限らないやうでありま す。

お料理獻立

鯖油炒めトマト添へ

秋鯖も味がのつてまゐりました。一寸目先きを變へて西洋料理風に致しますのも美味しいものでございます。

【材料】五人前

鯖　切身五切
サラダ油又はゴマ油　大匙三杯
トマト　三ケ
メリケン粉　大匙二杯
ヘツト
鹽、胡椒　十匁

鯖には鹽、胡椒してからメリケン粉をまぶし、油で炒め、同樣にトマトも切つて炒めて添へます。

けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局) 三日(土曜日)

◎朝◎

六、〇〇 建國體操
六、二〇 ラヂオ體操 (東京)
講師 秋父 固太郎
六、四〇 中等滿語講座 (大連)
七、〇〇 中等日本語講座 (奉天)
講師 近藤 喜助
七、二〇 氣象通報 (大連)
引續き 朝の音樂 (大連)
八、三〇 經濟市況 (東京)
九、〇〇 早晨演奏
九、二〇 料理獻立
九、四〇 經濟市況 (大連)
一〇、〇〇 家庭講座
姙産婦の注意事項 (三)
鈴木病院長 鈴木紀 (オサム)
醫學博士
一〇、二〇 野球試合實況 (東京)
—明治神宮外苑野球場より中繼—
東京大學野球聯盟リーグ戰
早稻田對法政
五、〇〇

◎晝◎

一〇、三五 經濟市況 (大連)
一〇、四〇 經濟市況 (東京)
一〇、五九 時報 (東京)
一一、四〇 ニュース (東京、新京)
〇、〇一 經濟市況 (大連、新京)
一、〇〇 白天演藝 (奉天)
帝大 對明治
新滿洲歌曲
落花 三、秋之一夕
因篇 四、桃花江
放送局新滿洲歌曲團
一、二〇 ニュース (東京)
一、三〇 成人講座 (滿語)
滿洲國史講話 (三)
吉林省立長春兩級中學校教諭 婁文章
二、〇〇 下午演奏
二、五〇 經濟市況 (大連)
三、〇〇 經濟市況 (東京)
ニュース (東京、新京)
三、三〇 經濟市況 (大連、新京)

◎夜◎

五、〇〇 子供の時間 (東京)
童謠 金の鈴コドモ會
ピアノ伴奏 長谷川堅二
齊唱 のびよ子供
長畠和太郎作詞
澤井弘作曲
獨唱 坊やの寢言
畠中正純作詞
長谷川堅二作曲
外四曲 桑原邦夫
外五曲
五、二〇 コドモの新聞 (大連)
五、二五 氣象通報、番組豫告 (東京)
六、〇〇 ニュース (東京)
六、二〇 今晩の番組、官廳公示 政府公報
六、二五 (滿語)
六、三〇 講演 (東京)
オリムピックより歸りて
河西省三
山本照
六、五〇 時事解説 (東京)
フランス金本位制の退滅
經濟學博士 太田正孝
七、一〇 室内樂 (東京)
ヴイオラ アウグスト・ユンケル
ピアノ マリオン・カイゼル・ユンケル
奏鳴曲 作品一二〇第二 ブラームス作曲
第一樂章 アレグロ、アマビーレ
第二樂章 アパシオナート・マ・ノン・トロッポ・アレグロ
第三樂章 アンダンテ・コン・モト
七、三〇 陸軍特別大演習實況 (札幌)
(第一日)
—演習現地より中繼—
八、〇〇 義太夫 (東京)
義經千本櫻
道行初音の旅路段
—新義座—
八、三〇 時報、ニュース (東京)
引續き ニュース、經濟市況
八、四五 ニュース、氣象通報、番組豫告 (滿語)
九、〇〇 舊劇 (奉天)
二進宮
放送局國劇研究部
一〇、〇〇 北滿の時間 (哈爾濱)

□備考 野球なき場合は左を追加す
一〇、二五 家庭メモ
〇、二〇 晝の演藝
〇、四〇 建國體操
二、〇〇 日用品値段 (滿語)
四、三〇 ニュース、演藝 (鮮語)
四、五〇 ニュース (英語)

新義座連中の義太夫
義經千本櫻
▽……道行初音の旅路の段

後八・〇〇 東京より

‖新義座‖

靜御前	竹本南部太夫
忠信	豐竹つばめ太夫
淨瑠璃	竹本叶美太夫
同	豐竹小松太夫
同	竹本津磨太夫
同	竹本越名太夫
三味線	野澤勝平
同	豐澤猿糸
同	竹澤團二郎
同	野澤勝延
同	鶴澤綱延
同	野澤勝之介

「戀と忠義はいづれが重い、かけて思ひははかりなや忠とまことの武士に君が情とあづけられしづかに忍ぶ都をば後に見捨てゝたびだちてつくらぬなりもよしつねの御行末はなにはづのなみにゆられてたゞよひて今はよしのと人づてのうはさを道のしほりにて大和路さしてしたもゆく。見たせばよもの梢もほころびて梅かへうたふうたひめのさの男が聲々にわかつまかてんじやうぬけてすえるせんひるのまくらはつがもたなや、大じようぬけてすへるぜんひるまくらはつかもなやヲヽつがもなや、おかしからすの一ふしに人も、わらやのそたちにも春ははねつくてまり、ひいふうつくづくときけばこち風音そへて、こぞの氷を德若にごまんざいと君もさかへましますあいけふありやたのもしやさぞなやまとの人ならば御かくれがをいざ問はん、はれも初音の此つゞみ君のさかへを壽ぎて、むかしを今になすよしもがな、たにのうぐひすもはつねのつゞみ／＼しらべあやなす音につれてまねくさおくればせなる忠信が旅すがたせなに風呂敷をしかとせたらおふて野みち、あせみちゆらり／＼かるい取なりいそいそと、めだゝぬ樣に道へだて女中の足とあなどつて嘸お待かね、こゝ幸ひの人目なしとせいめいそへて賜はりし御きせながを取出し、きみを敬ひ奉る靜はつゞみを御顏とよそへて上におきの石、人こそ知らぬ西國へ御げこうの御かいしよう、浪風あらく御船を住吉浦に吹上られ夫よりよしのにましますの由、やがてぞ參り候はんとたがひにかたみをとりおさめ雁とつばめはどちらが可愛やゝを育つるつばめがねならは、ふみのたよりも又の縁ェ、そふじやいな／＼うたふ聲々面白や實に此鐙を賜はりしも兄次信が忠勤也誠にそれよ越方の思ひぞ出る壇の浦の海に兵船平家の赤旗陸に白旗源氏の强者アラ物々しやと夕日影に長刀を引そはめ何某は平家の侍惡七兵衛景淸と名乘かけ／＼なぎ立て／＼なぎ立つれば花にあらしのちり／＼ぱつと木の葉武者言ひがひなし出や旁々よ三尾の谷の四郎是にありと渚に丁と打つてかする刀を拂ふ長刀のゑならぬ振舞何れ共勝り劣りも波の音打合太刀の鍔元より折引汐歸るかり、勝負の花を見捨つるかと長刀小脇にかい込んで兜のしころを引摑み後へ引くあしよろ／＼／＼向ふへ行足たぢ／＼／＼むんづとしころを引切て双方尻居にどつかと座す腕の强さと言ひければ首の骨こそ强けれとハハ、、、ホホ、、、笑ひし後は入亂れ手しげきはたらき兄次信君の御馬の矢表に駒をかけすへ立ふさがるオヽ聞及ぶ其時に平家の方には名高き强弓能登の守範經と名乘もあへず、よつぴいて放つ矢さきはうらめしや兄次信が胸板にたまりもあへず眞逆樣あへなき最期は武士の忠臣義士の名を殘す思ひ出るも涙にて袖はかはかぬつゝ井筒いつか御身ものびやかに春の柳生の絲ながかく枝をつらぬる御ちぎりなどかはくちしかるべきとたがひにいさめいさめられ急ぐとすれどはかどらぬ芦原峠けうのさと、つらたしつだも遠からぬのちの春風次はらひくもと見まがふ三芳野のふもとの里にぞつきにける。

「戀の歌」の リリーポンス
明朗物語

この十一月上旬來朝を傳へられる例のトーキー「戀の歌」で有名なメトロポリタン・オペラ座のリリーポンスは、早くも我國ファンの噂の中心となつて居るが、彼女は最近メリーランド州のフレデリックの町を訪問した、この訪問中に州知事のハーリイ・ナイス氏及びその家族と一緒にこれは古風な一九〇五年式カデラックに乘つてのろのろとドライブに出掛けたが、速度自慢のスピードの町を古い車で一時間十二哩といふ超スピード？で走つて居るのだから、その奇觀たるや天下に絶したものであるが、その又後から之又猛烈なスピードのオートバイ巡査が追跡して時ならぬ活劇に人々の目を驚かした。結局これは餘り時代離れのしたスピードで却つて交通の邪魔とばかり、皮肉にもスピード超過の罰金命令票をつきつけられてしまつたといふ明朗な話。拔け目ないアメリカのカメラニユースマンがこの場に控へて居て、このセンセーショナルな光景を寫眞に收めたのは當然である。

市外通話に就て(一)

新京中央電話局長　橋詰勉

新京からの市外通話は南滿各地とは勿論、遠く北滿の地域とも出來るが、その申込は一〇〇番で、又日本内地との通話は一〇五番で受付けてゐる市外通話は申込の順に取扱つてゐるから、同一地方への通話が混んでゐるやうな時分には、急ぎの用は至急通話としてお申込を願ひたい。通話申込の型は、先づ一〇〇番を廻はして例へば、「本局一二三〇番ですが、大連伏見二三四〇番を願ひます」と云つて頂けば、一〇〇番では(1)「本局一二三〇番から大連伏見二三四〇番ですか？」と双方の番號を確めた上(2)「承知しました」とお受けすることにしてある。以下必要な場合には、此の「新京本局一二三〇番から大連伏見二三四〇番」への通話の例に依るであらう

市外通話は、サービスの順番が來ると、請求者と相手の方、即ち對話者とを同時に呼出す手筈をするのであるが一般に對話者が應答なされば(3)「新京からお呼びですから少々御待ち下さい」とお告げして、そこで請求者がお出になれば、請求者へ(4)「大連伏見二三四〇番お出になりましたからお話し下さい」と申上げて時間を計ることになつてゐる。併し請求者が先にお出になれば、(5)「大連伏見二三四〇番をお捜ぎしますから少々お待ち下さい」と申上げておいて、對話者が出られるのを待つて(6)「お待たせしました、大連お出になりましたからお話し下さい」と云ふことにしてゐる(寫眞は橋詰勉氏)

文藝

ヴアレンチーナ

奥　一

「貴方がゼネラル・オクのお孫さんですか」私達はさつきからうすぎたない露人雜貨店の帳場のテーブルを占領して主人自慢のロシヤ漬を肴にウオッカの盃を上げてゐた。

「實は私も日露戰爭に出征しました。極東狙撃聯隊の小隊長でした。當時は私と貴方のお爺さんとは敵でしたが、今の貴方と私は友達です」

人のよさそうなザハロフさんは大きな手をさし出して力一ぱい私の手を握つた。

最初石川さんが日露戰爭のゼネラル・オクと同じオクと云ふ人だと紹介したのを、醉つた勢でかん違ひしたのか先生すつかり私を奥將軍の孫にきめ込んでしまつた。

「ゼネラル・オヤマの軍と戰ひました、ひどい戰でしてね私達の小隊は殆んど全滅しました」

むりに訂正する必要もないのでそのまゝにしておく。當時を追想する様に目をほそめて日露戰爭の話を續けるのだつた。

「貴方はウオッカの飲み方を知りませんね、そう云ふ飲方をするとすぐ醉つ拂ひます。それは日本酒の飲み方で、ウオッカはこう云ふ具合に口の中にほり込んですぐ胃の中に流し込むんです、一度小便すると出ちやいます、食道をゆつくり通してゐると頭へ上り又肺を弱めます、日本のアワモリ、電氣ブラン同じ事です」

なる程、私は酒の講釋まで聞くとは思はなかつた。

「女の話をしろつて、困りましたねえ、何分年が年だし、若い頃はずつと軍隊生活をしてゐましたんで、それに何分の御面相と來てゐるんだからどうも女の子には緣が遠いでして……そう云へば此の間ヴアレンチーナに會ひましたよ石川さん貴方御存知でせう、元私の家にゐた可愛い娘つ子あれにひよつこり新京驛で會ひましたよ」

「ヴアレンチーナの親爺は元私の部下でして、先に話したゼネラル・オヤマとの戰に危い所を命拾ひした男です、其の後私とは兄弟の樣にしてゐました。一九二三年本國の革命軍に追はれて例のヤストレブチエフ將軍が團長で滿洲へ避難して來た時も、ハルビンや滿鐵の撫順炭坑へ多くの同胞が行きましたが、彼と私の家族は寬城子にとゞまりました。それから何年かたつて彼はハイラルへ職を得て出立しました、當時小娘だつたヴアレンチーナを私が預つて御存じですか、城内の仁慈堂といふ修道院へ通はせて教育してゐました。

彼女は聲が大變よくつて、一度降誕祭のダンス會に獨唱したのが、えらく受けてそれから男も女もダンスの相手にプロポーズする、躍つてゐると皆が花を投げるテープを投げる年寄り連からキスされるさあ大變なもてかたですつかりダンス會の人氣をさらつて女王樣の樣な待遇を受けてあまり躍つたものだから翌日一日寢込んだなんて事がありましたよ

それから色んな男たちがつきまとつて、と云へば語弊がありますが、友達になつて、とうとうコーリヤと云ふ若者とコーリヤはあまり評判のよくない、男でしたが……と出來ちまつて、私に無斷で外泊しちまつた。これは彼女の意志でなく半ば强迫的だつたのでせう、そして翌日學校に遲れた思ひなやんだ結句遲刻しましたと云つて表門から入り切れず仁慈堂の柵を乘り越へて入つた、それを先生に見つかつて、明日から來るに及ばずと云ふ事になつた、いやなかく頑固な尼さんで、私もあやまりに行つたがいつかな聞き入れてくれない一と間で一日泣き明した彼女は其の夜突然居なくなつた、惡い男がついて學校が退學になり、その上家出されたんじや親爺に對して私は顏が立たない、私は家内と心當りを一生懸命さがしたが終に見つからずに翌々日伊通河の附近の滿人から河にはまつたのを助けて介抱してゐるとの報せが入つた。

丁度今の樣に落葉がカサコソ鳴る秋でしたが、貞操を奪はれ、學校を追はれ、物に感じ易い小娘にしては耐へられない事だつたのでせう、其の後性格がすつかり變つて新京でダンサーをしたり、ハルビンのキヤバレーなどでごろごろしてゐました。

私は祖國を持たない女のたどるべき道に又一人……落ちるべき運命に落ちて、いづれはアンペラの上でモヒやヘロの虜になつて、腐つた肉體をさらすあはれな樣を想像し、いつの間にか彼女の事を忘れてゐましたが、それがつい此の間、新京驛でヒヨツコリ會つたじやありませんか、盛裝した彼女を、指には何カラツトかのダイヤが、そして三つ四つの男の子の手をひいて、驚きましたね、私は自分の眼を疑がいましたが、向ふから聲をかけて、ザハロフ叔父さん、お久し振り、まあ年を取りましたね、などゝ

現在天津で米人の銀行家と一緒に幸福な日を過してゐるそうです子供も二人あるんですつて、主人が近くアメリカの本店詰になるので、下の子はばあやに預けて、上の子を連れてハイラルの父の許へ、今路警の巡官をしてゐるそうです……別れの挨拶に行く所だそうです

いや實際、あの姿を見て…上の男の子は母親に似て可愛いゝ子なんです…私も安心しました落ちるべき所に落ちなかつた、それだけでないあの幸福そうな私は我が子のえらくなつた樣に嬉しいでしたよ」

ザハロフさんは語り終つて紅潮した顏を片手でなでながらウオッカを一氣にあふるのであつた。

爆撃機

或る拍手
—上海製の一映畫を續つて—

阮玲玉の名前にひかれて「再會龍上海」といふ支那映畫を觀た。日本譯すれば「さらば上海」といふところであらう。

そこに描かれてゐるのは、農村から出て來た一人の女が繁華な上海のブルジョア社會に捲き込まれて、一人の男の奸策に引つ掛り、それから自活する生活にはいつて苦勞をするといふたあいのない物語であり、場面の遲々とした進行が隨分と間のびしてゐて退屈な作品であつた。

それよりも、私が感じた事は、このやうな作品に向つても屢々滿人の觀客諸君は拍手を送つてゐた事實である。

それは觀樂の意識の低さといふ事よりも、このやうな作品をしか與へられてゐないといふ其條件が私に訴へて來たのである。聞くところによれば、滿洲に於けるプロダクションの計畫は關係方面に於いて着々進められてゐるといふ。私達は一日も早くすぐれた作品がこの國の大衆のために生れて來る事を願はざるを得ない。さうした作品が創り出された曉には、滿人諸君は違つた響きを持つところの拍手を送り得るに違ひない。—上海產の映畫を觀てゐて私は切にそのやうな事を考へたのであつた。（ＨＹＪ）

雜草俳句會詠草
—第三十六回—

鷄頭の色うつりつゝ暮れにけり
猫の子が寢床かへたる夜寒かな
○　もみぢ

手洗に夜寒の雨戸繰りにけり
鷄頭や文化住宅とつゞくに
陽に映ゆるましろき腹や秋燕
○　南風

病む人と語りてゐたる夜寒かな
拭き込める茶棚に映えて夜寒の灯
○　山風

閨秀の歌人の墓や葉鷄頭
晴るゝ雨南燕去りて殘るなし
○　靜盧

鼻すゝりすゝり學ぶ夜學かな
さようなら海山越ゑて去ぬ燕
○　早苗

垣越しに隣の庭の鷄頭花
○　雪村

鷄頭や垣にふくるゝ子の蒲團
金次郎の話讀む子に夜寒の燈
店土間の多荷解かれて去ぬ燕
鷄頭に月かげ白き夜となりぬ
○　紅二

膝抱いて机に向ふ夜寒かな
通されし宿の座敷の夜寒かな
○　告天子

秋燕秩父の嶺は晴れつゞき
鱗雲映えて燕去ぬ日かな
○　梅城

秋燕ビルの足場のまだとれず
臨終と醫師の宣ふ夜寒かな
鷄頭や籾干してある庭の先
○　勝司

馬車の遠き灯をよぶ夜寒かな
海晴れて家居明るし鷄頭花
手燭して廻廊長き夜寒かな
○　安聲

新刊紹介

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲資料編（第一號）滿洲のセメント事情、新京に於ける綿絲布の需給と織布工場、新京に於ける靴下工場、新京に於ける麻袋、其他ゴム靴、地下足袋の需給、鮮魚の需給、凍魚、蜜柑、果實店、林檎、清涼飲料水製造業、製粉工廠、蠟燭製造業、支那式醬油の新京に於ける狀況を調査したものを一冊にまとめたものである、菊判一四四頁實地に即した調査として價値高き資料と言へやう（新京吉野町三ノ七、新京商工會議所）

▲經濟統計月報（第二五四號）八月の大連財界概況を記述し諸統計を添ふ（大連市敷島町八二、大連商工會議所　三十錢）

官場現形記（169）

李　寶　嘉　作
大内隆雄　譯

—第十四回の十—

王は言つた。

「うまい琵琶なら誰でも聽くことを好みます。今日はいつもと違ひ、堅苦しさをやめてやるといふのでしたら、ひとつ龍珠姑娘に彈いて貰ふことにしませう、さうすれば大人のお酒もよけいおいしいわけですから」

胡統領は

「今日はみんなと共に樂しむのだ。私から先づ例を破ることにしやう。龍珠を呼んで來て彈くやうに言へ」

と言つた。龍珠は早速やつて來て坐る、續いて玉仙もやつて來た。

胡統領は同席者全部に女を呼ばせやうとした。知府、參將みな好い仲のを呼んだ。周はやはり子供の招弟を呼んだ王が女を呼ばうとしない。胡統領はこれには無理にも呼ばせやうとはしなかつた。最後に趙不了に向つて統領は

「今日は先生も弟子を放免したやうなものだ、君も愉快にやりたまへ、誰を呼ぶかね」

と言ふ。趙は

「ゐないんですよ」

と答へる。統領はぜひにも呼ばせやうとするが趙は承知しない。胡統領は、こいつ蔭ではこつそり好い事をやつてゐて表面は濟まして居る、こんな奴は出世せん方だと心中思つた事であつた。さう思へば顏も自づと荒立つ。趙の實際の心事などは判りはしなかつたのである。趙はなほ耐え難い氣持で、外の女を呼ぶなんで心意はあるわけが無かつたのである。

そこで、胡統領は彼の方には眼も呉れず、急いで鄰りの船にゐる文に呼び掛けて、そちらでも女を呼ぶやうにと話した。この時、陽仙はすでに死んでゐるのだが、玉仙は無事で、依然その商賣をやつてゐたのである。で、文はやはり彼女を呼ぶことにした。趙不了は窓越しに玉仙を見、その妹を思ひ出して、心中更に言ひ難い辛さであつた。

程なく女たちはみな揃つた拳を打ち、終つた時に龍珠は琵琶を抱へてやつて來て、何をやつたらいゝかを訊ねた。府の役人が玄人であつて言つた。

「今日は統領大人が勝を得てお歸りになつたのだ、當然目出度い曲をやらなくちやいかん」

みんなも聲を揃へて

「さうだ」

と言つた。知府は

「將軍令と卸甲封王」

と註文した。胡統領は果して非常な喜び方であつた。

やがて琵琶は終つた。知府參將らは一齊に坐を離れ、前に出て來て統領に酒をついだ。

「大人甲は卸された役、高升日を指して必定です、この壽酒ぜひおあがりねがひます」

「喜ぶなら諸君が喜ぶべきだ私は歸任したら、今日働かれた諸君を中亟に報告し必ず引立てて貰ふ。この數日色々忙しくやつてくれた諸君にそれは當然な事だ」

知府、參將はこの言を聽き又一齊にどうかよろしくお願ひしますと挨拶した。

×　　×

一方、右側に位置してゐた文の乘つてゐる船では首縣の莊大老爺が酒を飲んでゐた。大船の方で知府、參將たちが統領を圍んでよろしくやつてゐるのを見て、自分もひとつ結ばうと、同席した者も誘つて出掛けて行つてよろしく取りて立ち上つた。そして一歩踏み出さうとした所に、役所の男が呼吸もせはしく汗たらたらになつて船に飛び上つて來て主人に言つたのだつた。

「旦那樣、惡い事になりました！」

莊大老爺はこれを聽いてびつくりした。

「妾がどうかしたのか？」

「第二夫人の事ぢやありません。西北の村から多數の男女がやつて來ました、中には頭を破られて血みどろになつてゐる者もあり、擔がれて來た女もゐるのです、旦那樣におすがりに來たのです」

「どうしたわけだ、又土匪にやられたのか！」

「土匪じやないんですよ、統領の手下の兵卒が、殺したり品物を奪つたり、家を燒いたりしたのですそれを訴へに來たのです」

（つゞく）

「新聲橫斷記」本日休載

第二回滿洲農産物收穫高豫想發表

前年度に比して七〇瓲增收 平年作より稍や惡し

滿洲農産物收穫高豫想調査聯合會による九月一日現在調査第二回滿洲農産物收穫高豫想は左の如く發表された、即ち作況並に豫想調査槪要は、第二次調査に係る本年度の全滿（熱河省、興安四省を除く）主要農産物豫想收穫高は約一六三六萬瓲であつて前年度に比し四%約七〇萬瓲の增收と推定せられる、このうち大豆は約四〇九萬瓲であつて前年度に比し八%約三〇萬キロトン、高粱は約四一一萬キロトンであつて前年度に比し三%約一二萬キロトン、粟は約三〇八萬キロトンであつて前年度に比し五%約一六萬キロトン玉蜀黍は約二一二萬キロトンで前年度に比し一三%約二四萬キロトン、水稻は約四三萬キロトンで前年度に比し四七%約一四萬キロトンと孰れも增收、小麥は約八三萬キロトンであつて前年度に比し一七%約一七萬キロトン減收と推定せられる、因みに前年度に比し全般的に增收を豫想せらるゝ主因は前回の報告にもあつたやうに

一、廢耕地の恢復
二、前年作況の不良

に起因してゐる、但し平年に比較すれば玉蜀黍、水稻を除く各作物の作柄は平年に及ばない見込である、これを省別に觀れば濱江、間島、安東、錦州の諸省は氣象の推移適順であつたゝめ比較的良好なる作況を示してゐるが、吉林、奉天、龍江、黑河、三江の諸省に於ては不順なる天候と水災に禍ひされたゝめ作況不振である ×

對比前年作柄步合（前年を一〇〇とす）

省別＼作物別	平均	大豆	其他豆類	高粱	粟	玉蜀黍	小麥	水稻	陸稻	其他雜穀	麻實	荏
全平均	一〇三	一〇四	一〇六	一〇三	一〇四	一一三	七七	一一六	一〇一	一〇三	八四	八九
吉林省	九七	九七	一〇四	九一	九四	一一一	九一	一二三	九七	九九	一〇六	一〇四
龍江省	九四	一〇四	一〇三	九八	九七	九五	六六	七六	一一〇	九九	八〇	八八
黑河省	八二	八九	八七	—	七一	九六	七四	一〇〇	—	八六	—	—
三江省	一〇一	一〇八	一〇二	一〇六	一〇七	一〇五	八五	九七	一〇一	一〇四	一〇二	七九
濱江省	九五	一〇三	九三	九六	九九	一〇二	八五	九六	九八	九五	八〇	八一
間島省	一二四	一二六	一一三	一一三	一一三	一二〇	一二四	一三二	一一二	一三〇	一一六	一二七
安東省	一三九	一三七	一三九	一二四	一四七	一四〇	一〇四	一二八	一二四	一二一	一〇九	一二〇
奉天省	一〇六	一〇七	一〇九	一〇五	一〇九	一〇三	一〇二	一一六	一〇〇	一〇二	一〇〇	一〇六
錦州省	一一二	一〇五	一〇二	一一三	一一五	一〇九	九二	一〇三	九九	一〇六	一〇八	一一〇

（註、熱河省及興安省を除く）

主要農産物豫想收穫高

作物	省別	收穫高（キロトン）
一、大豆	合計	四、〇九二、八四五
	吉林省	九六三、〇四三
	龍江省	四四九、六八八
	黑河省	二、二五四
	三江省	二四七、四〇一
	濱江省	一、〇五八、四〇〇
	間島省	九一、九五七
	安東省	一六〇、三六〇
	奉天省	九六二、四九九
	錦州省	一五七、二四三
二、高粱	合計	四、一一一、七七七
	吉林省	六八四、五九七
	龍江省	二六五、三三六
	黑河省	—
	三江省	九五、〇四五
	濱江省	五八一、二八九
	間島省	七、四〇八
	安東省	一三七、九五二
	奉天省	一、六八五、九〇九
	錦州省	六五四、二四一
三、粟	合計	三、〇七七、六八二
	吉林省	六四八、四七〇
	龍江省	四六四、〇五九
	黑河省	一、三七八
	三江省	一六九、三七六
	濱江省	九二四、六二七
	間島省	六三、四九二
	安東省	五八、九八九
	奉天省	五五八、五四〇
	錦州省	一八八、七五三
四、玉蜀黍	合計	二、一二一、五五三
	吉林省	二九四、一八一
	龍江省	二二一、三八三
	黑河省	一、一一一
	三江省	一一七、五〇七
	濱江省	四二八、七七六
	間島省	三三、三六七
	安東省	四八四、二七七
	奉天省	四三六、四一九
	錦州省	一〇四、五三二
五、小麥	合計	八三四、八六四
	吉林省	四五、九五七
	龍江省	一六二、二一八
	黑河省	四、一一一
	三江省	一五五、〇五九
	濱江省	四二〇、八九七
	間島省	二、八九六
	安東省	二、九二〇
	奉天省	三五、二四二
	錦州省	五、五六四
六、水稻	合計	四三三、一七〇
	吉林省	七六、七〇九
	龍江省	七、一四六
	黑河省	二四二
	三江省	一二、一六五
	濱江省	六九、三四七
	間島省	五〇、二二五
	安東省	八四、七四〇
	奉天省	一二九、四二三
	錦州省	三、一七三
七、陸稻	合計	一三六、七六八
	吉林省	四一、九四四
	龍江省	二七二
	黑河省	—
	三江省	二八八
	濱江省	一一、四六三
	間島省	七一
	安東省	八、七一七
	奉天省	六八、八五二
	錦州省	五、一一一

滿洲飛行協會の第一期會員募集

申込締切りは十月十日まで

九月二十七日華々しく發會式を擧げた滿洲飛行協會では第一期會員を募集してゐるが募集人員は正會員準會員合せて五十名で資格は

（A）滿十六歲以上の男子にして中等學校二年修了高等小學校卒業以上の學力を有するもの

（B）準會員は右資格者にして現に在學中の者十名以上を以つて組織する團體なること要する

希望者は十月十日までに正會員は身元保證人二名と連署し準會員は親權者又は之に準ずる者と連署し團體員全部の願書を一括して所屬學校長を經由して飛行協會長宛提出すればよい、應募者に付て性能檢査の上入會の許否を決定する筈である、因に正會員は入會金五圓、金費年額二十圓、準會員は入會金一圓、會員年額十圓

敷島高女父兄會の創立總會開催 來る十六日を期して

國都の急激なる人口の膨脹につれて新京教育機關にもこれが影響を來し、校舍の增築、學級の增加、校舍の貸借等物議を釀してゐる折柄父兄間にも子女の教育に對して憂慮する向きが多く學校當局と種々善後處置に就き協議をしてゐる現狀にあるが、今回敷島高女では從來の體育、衞生、教材等校內の諸設備が生徒の增加に從つて不便を來し、尙ほ校友會の支出のみにては充分な子女教育を施し得ない事を遺憾として父兄會の創立の必要を痛感し先頃より創立委員をして奔走中の所最近に至つて漸く父兄間の讃意を纏め得たので、來る十六日父兄の來席を待つて創立總會を開き其席上裁可を決する事となつた

國婦新京支部 會員功勞者に表彰狀を授與

國婦滿洲本部に於ては事變以來の新京支部會員功勞者八十余名に對し二日午後一時より軍人會館に於て守屋本部長事務取扱より夫れ〲各分會代表者に表彰狀を授與した、寫眞は表彰狀授與

手形を遺失

新京錦町一丁目大丸新館止宿の大連浪速町一番地岩淵健麿呂氏は二日午後一時ごろ朝日通り新泰洋服店からダイヤ街へゆく途中馬車の上に赤皮製二ッ折鞄在中品約束手形の二枚額面六百八十圓同四百圓を遺失した

"工作機關の集中と適種適地主義"

滿洲畜産視察團の報告座談會

二日朝視察を終へて歸京した滿洲畜産視察團の報告を主とした座談會は、二日午前十時より日滿軍人會館に開催、視察團員のほか、滿洲國その他各關係方面よりも多數出席 團長木村東大教授、副團長甲北大教授、千住製絨所內田氏、中央毛織會社淺井氏、三井物産齋藤氏、長崎縣畜産組聯比江島氏、農林省三宅氏、關東軍倉庫三好氏の各氏より左の諸問題に關し意見の開陳あつた

一、滿洲に於る家畜の改良增殖

滿洲は各方面から畜産に適應して居り又どうしても必要あるが、現在は畜産國とは云へない、畜産國とする爲には改良增殖を行はねばならぬがそれには品種の改良、防疫の徹底、獎勵機關の設置、飼料の研究、試驗機關の擴充、指導の徹底が必要であるが、その場合工作機關の集中統制が必要である品種に關しては適種適地主義が最もよい

一、緬羊改良に關する意見

今のところ滿洲の緬羊を在來種、雜種、改良種に分類し得るが三種とも羊毛資源としては何れも良好とは云へないからこれが改良に努力しなければならぬ、品種の改良のためには改良羊毛を在來種に比し高價に買ふ必要があり、又同一品質のものを多量に作つて商品としての規格を統一する事は技術的方面と同樣に重視さるべき事である、羊毛の工業を起す事が必要であるが羊毛製品はどうしても日本の需要に當るであらう

一、羊毛皮、羊皮、羊肉、羊腸の利用方法

之等の副産物は羊毛價格との關係等より作用方法獎勵の必要がある、羊毛皮、羊皮は國內では需給のバランスがとれて居るが、尙ほ利用方法は種々ある、羊肉も國內では今のところ供給充分であるが日本への輸出を考慮して種々研究する必要がある、羊腸は充分食料となし得、弦の原料ともなる

荷馬車の附屬地橫行今後罷りならぬ

愈よ實施された取締り規則

新京滿鐵事務局では今まで無制限に附屬地內を橫行交通事故を頻發し且つ舗道を破損する荷馬車を徹底的に取締る方針の下に新京警察署と呼應して十月一日から荷馬車通行取締規則を設け規則に違反するものは拘留又は科料處分に附するといふ嚴罰主義で臨むことゝなつたので二日は早朝から荷馬車業者が滿鐵事務局に押しかけ標旗の分讓で大混雜を呈した

交通會社バス 電柱に衝突

三十日午後二時二十分ごろ新京交通會社三番線バスが大同大街を新京驛に向つて進行中關東軍司令部前十字路の場所で電柱に衝突しその反動で後車のバネが破損し車體はひどく傾斜し激動のため乘客中の中央銀行出納係主任土山氏夫人、同係員河村源太郎氏夫人はそれ〲腹部腰部に打撲傷をうけたが土山夫人は初妊娠八ヶ月の身重體で氣遣はれたが最寄りの田島醫院に入院手當中で全治には十日位を要する模樣である

モ氏夫妻等 敷島高女で演奏

敷島高女生徒錦ヶ丘高女生徒の情操教育のため滯京中のモギレフスキー氏夫妻とテナー平間文壽氏を招聘して二日午後二時半より敷島高女講堂で演奏會を開催した、（寫眞はモ氏の神技に聞き入る生徒）

迷ひ子になつた千惠子さん

市內羽衣町一丁目八號東工務所東利夫氏長女千惠子（三ッ）さんは二日午前七時ごろ自宅前路上で一人遊んでゐたがいつの間にか姿を見せなくなりうちでは心當りを探し廻つたが小雨さへ降るのにお晝になつてもかへらず夕方五時になつても沓として發見されず迷子搜査願を新京署へ願ひ出たなほ着衣は新モスの袷せ物に毛絲のチャンパーにゴムの長靴を穿いてゐた

滿洲製品に對して支那が高率課稅

在滿工業者への影響は甚大

【奉天國通】上海々關は九月廿九日附を以て滿洲生産の機制貨物に對する優遇享受の停止を發表した爲、上海市場に地盤を有する滿蒙毛織會社始め各工廠に非常な衝動を與へたが滿蒙毛織では目下調査員を派遣して眞相調査中で、その報告を俟つて具體的對策を講ずることゝなつた 今回停止を公布した機製洋式貨物稅辦法は 舊政權時代滿洲産業助長の 見地より滿洲製品の支那市場への輸送品に對し從價一分五厘 の低率 なる單一稅を課し、非常なる恩惠を與へたもので滿洲國成立後も右を踏襲し來つたものであるが、最近の排日風潮に乘じた支那商の滿洲製品に對する普通輸入稅徵收請願策動に依り優遇停止を行ふに至つたものと觀測される、而して滿蒙毛織會社製品の對支輸出は主として羅紗、サージ、毛布等一年約百萬圓でその內南支那市場向けは四十萬圓內外であるが今回の稅率改正に依り滿洲製羅紗毛布類は從價一分五厘より一擧一割五分乃至二割に引上げられる事となり滿洲製品の南支進出は致命的打擊を蒙るものと見られる

第二代用官舍 割當決定

過般竣工した第三代用官舍の各部割當ては二日午前十時より大德公司に於て抽籤を行ひ近日決定者の轉宅を見ることゝなつたが、官舍總數二〇八軒內四十八軒は永春路に、百六十軒は金輝路に面し、仁號は八疊六疊、二間二疊で四十九圓、喜號、六疊四疊半三疊で三十四圓福號、六疊、四疊半の二十圓の屋賃である

岩木警正轉任

首都警察廳特務科長警正岩木精一氏は瀋陽警察廳に榮轉二日暇乞挨拶に來社した

溝江技正榮轉

國都建設局總務處計畫科長技正溝江五月氏は今回奉天市公署工務處長に榮轉、來る五日ハトで赴任に決し二日暇乞挨拶に來社した

租稅犯則者の規則改正

「大同二年敎令第七十九號（收入印紙を以てする歲入金納付に關する件）中改正の件」が十月三日勅令を以て公布即日施行せらるゝ事になつた、此の改正は曩に施行せられた租稅犯處罰法に依り犯則者より徵收する「犯則事件の處分費用」を收入印紙を以て納付せしめる事としたものである

田島新京犬猫病院長全快

東三條通四四番地滿鐵醫院東側新京犬猫病院々長獸醫田島襄次氏は過般來風邪のため一部診療を休診中の處全快、一日から從來通り診療に從事してゐる

橘氏を圍む座談會

橘樸氏を中心とする座談會は三日午後五時半から軍人會館で開催される

新京事務局長等 挨拶に來社

新任の滿鐵新京事務局長山口十助同庶務課長菅野誠、同地方課長田中弘之、同業務課長高田精作、同鐵道課長、濱田有一の五氏は二日就任挨拶に本社へ來訪

民政部警務司の金井企畫科長、先頃馬車は遲いし、といつて自動車では高くつくといふので通勤用の自轉車を購つて每朝ベルの音も勇ましく役所通ひを始めたものであつた▼そして會ふ人每に「キミ、ペタルを踏むのはいゝ運動になるぜ、ゼヒ君もやり給へ」などと獎勵これ大いに勉めつゝあつたのであるが▼或る日、外出中に泥棒が押込み、この泥棒圖々しくも盜んだ洋服類を愛用の自轉車に積んで逃走した▼流石の金井科長もこれには啞然として「マサカ君、自轉車を泥棒の足がはりにしやうとは思はなかつたヨ」

晴の凱旋 オリムピック選手團

【神戸國通】スポーツ日本の炬火を翳して遠くベルリンオリンピックに參加し歷史的新記錄を樹立した我がオリムピック本部隊平沼團長以下ホッケー、籠球、體操、ヨット、女子陸上、拳鬪、馬術各部の役員團一行百七名は秋雨煙むる二日午後四時半郵船鹿島丸で神戸港に到着、埠頭を壓する歡呼裡に晴の上陸第一歩を印した、一行は出迎の岡田兵庫縣知事勝田神戸市長より歡迎の辭を受け萬歲を三唱した後自動車三十臺を連ね最初の歡迎會場たる神戸商工會議所に入り縣市オリムピック後援會共同主催の歡迎會に臨んだ一行は二日夜東上、晴の帝都入りを爲す筈である

山崎河本兩理事 四日來京

【大連國通】十月三日限り滿期退任する滿鐵三理事の內、山崎、河本兩理事は四日午後八時發列車で新京に赴き關係方面に退任挨拶をなし歸途奉天、撫順等に立寄り同樣退任挨拶をなす筈である

重要産業統制法 近く現地案決定

滿洲國重要産業統制法は、關東局施政卅周年記念式典に參列のために赴旅中の板垣參謀長の歸任をまつて數日中に軍關東局、滿洲國政府三者の間に現地における最後的會議をなし、現地案を決定することゝなつたが臨時産業調査局椎名調査部長及び實業部企畫科美濃部事務官は右現地案を携行來る十五日ごろ東上して同法について中央部と協議を遂げるが右統制法は遲くも今年末までに公布、來年一月一日施行となる豫定である

謹啓母久子儀病氣加養中の處療養不相叶本月一日午後二時十五分當地滿鐵病院に於て死去仕候間此段生前辱知諸彥に御通知申上ぐると共に御禮申上候 敬具
追而葬儀は本月三日午後一時當地長春寺に於て相營可申候
昭和十一年十月一日
新京錦町四丁目二十七番地
男 植田貢太郎
親戚總代 植田德次 先山榮治
友人總代 韓雲階 寺崎英雄 平野正朝 下津春五郎

妖魔往來（禁上映上演）

桃川燕二演　内山鉦太郎畫

六四

お志津に向つて、一旦歸宅するやうに孫兵衛は、なだめすかしたあとで、言葉を續けて、

『此場は兎や角う何有らず孫兵衛に萬事お任せなさいまし、惡いやうにはいたしませぬ』

『ぢやと云ふて祝言の盃事までして、夫婦の固めもせずに別れるとは……』

と八郎の方へ濃艶な眼を向けました、八郎此眼で見られて身も心も燃けるばかり

『孫兵衛殿、お志津殿も今夜のことは心殘り、必ずとも引止めおくとはいはせぬが、せめて今晩だけは眼を瞑つて知つて知らぬ振、夫婦の堅めだけはさしてはくれまいか、最う夜も更けてゐる、朝早く出立となれば我等に異議はない其處を何うか……』

『飛んでもないことを言はつしやる、其處が大切なところで、假が先刻から申したことがお分りにならぬ程愚鈍な方ではない譯、何も何有らず孫兵衛に委せて置いた方が貴方の行末のお爲サア〳〵』

孫兵衛の云ふところ理の當然でございます八郎ももう致方がない

『それでは孫兵衛殿、我々をきつと夫婦にして下さるか』

『孫兵衛白毛頭にかけてお受合ひ申す、其代り一月程は我慢なさるが好い、一月の間默つて江戸に潜んでお出になれば、孫兵衛吉左右をもつて再び此國本町をお尋ねいたします』

『孫兵衛それが本當ならば私はお郷と一緒に歸りますが、阿母アさんが承知して下さるだらうか』

『その邊は孫兵衛の胸にあります、馬[illegible]の[illegible]さんへ内々で事情を話せば[illegible]さんも分つたお方、酢いも甘いも御存じ、決して生木をさく様なことはありません、サアお歸りなさいまし』

殊勝な孫兵衛殿人を留め、遂に一月餘を約して其夜の内にお志津を連出して了ひました、宇都宮八郎全く手に握つた玉を人に奪はれた形……、呆然として相待つことになりました。薄ボンヤリした八郎、毎日溜息をつき兩腕をくみ鬱々として二十日ばかりを過した

『倉吉居たか』

『これはおいでなさいまし、誠に店が忙しいものですから伺はなくては濟ぬ〳〵と思ひながら、近所に居て御無沙汰に過しました、何ぞ御用で……』

『イヤ出入り親しき商人、無沙汰であつたからとて何とも思はぬが、しつての通り妻女があゝ云ふ譯で國元へ引取つた、一月までと孫兵衛が云つたが今日で二十日にもなる、風の便りもないので待切れなくなつた、一と先家を頼んで様子見旁々國許へいつて來やうと思ふ』

『へエ成程、それが宜しうございませう、孫兵衛さんがあれ程受合なすつたのでございますに、無事で國許へ着いたとも何とも沙汰がないとはチト變でございます』

倉吉も内々八郎を怪しいと思つてゐる、早く店舗の[illegible]を抜いて置ひたい考へ、其處で早速倉吉が古道具屋を引張つてきて新しくかつたばかりの諸道具を二足三文に賣拂ひました

其處でなア倉吉、身共が國許へ立廻るにはチト都合があつて此姿ではゆけぬ、貴様がしつての通り小野光五郎先生には門人が多數だ國許で其門人衆に顏を合すのも面倒、用事を速に片つけて再び江戸表へ參る所存だによつて光五郎先生の方へは顏出しを致さぬ、旁〻なりをかへて行く積りだ、貴様は方々に得意があつて種々な人物と懇意、古着物でも宜しい、巡禮姿を一領と鼠木綿の衣服、丸グケの帶[illegible]、尺八の類を求めて來て異れまいか』

昭和の常識

寒暖計は壁や柱から一寸程離して掛けるがよい、氣溫以外に壁や柱の溫度に影響される事があるから

本年上期の滿洲國貿易總額は六億八千萬圓で、五割五分は對日貿易五百萬圓の出超は同國の新記録

ビタミンCは時日の經過につれて消失するが、柑橘類に含まれたものは酸の作用で永く保たれる